



太陽有限責任監査法人

HP: <https://www.recruit.gtjapan.or.jp/> (リクルートサイト)

Twitter: @Taiyo_Recruit

LINE: @230efixw

太陽有限責任監査法人は、グラントソントンインターナショナルのメンバーファームです。
グラントソントンインターナショナルとそのメンバーファームは、世界規模のパートナーシップ組織ではありません。
それぞれのメンバーファームは、独立してサービスを提供しています。

Grant Thornton Taiyo LLC is a member firm within Grant Thornton International Ltd ("Grant Thornton International").
Grant Thornton International and member firms are not a worldwide partnership. Services are delivered by the member firms independently.
©2020 Grant Thornton Taiyo LLC All rights reserved.



リクルートサイト

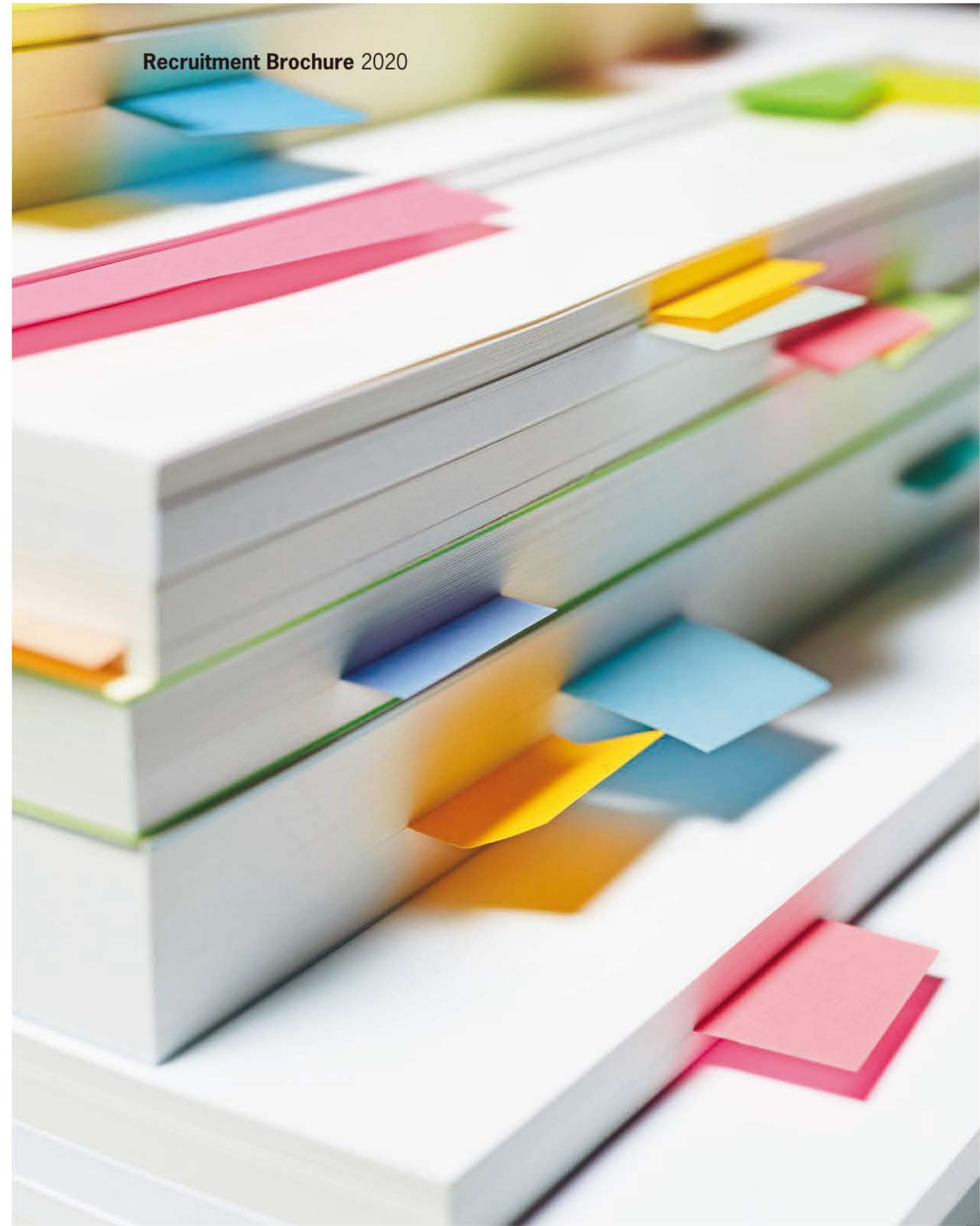


Twitterアカウント



LINEアカウント

Recruitment Brochure 2020



好奇心と柔軟性を掛け合わせると、 未来の会計士像が見えてくる。

公認会計士に必要なものは、職業的専門家としての知見と、全方位にアンテナが動く好奇心。
多様性のある柔軟な環境と融合した時、会計士の可能性は無限に広がる。
真っ白なノートに、あなたの無限の未来像を書き込もう。

Growing Together

Contents

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| 04 太陽有限責任監査法人とは？ | 30 地方創生を担う、7つの地区事務所 |
| 05 グローバルなミッドサイズファームという特異なポジション | 32 Grant Thornton |
| 06 太陽有限責任監査法人だからこそできること | 34 世界に通用する人財となるための支援制度 |
| 08 太陽有限責任監査法人で携われる業務内容 | 35 GTネットワークを生かした成長・国際交流 |
| 09 若い年次から様々な経験を積める環境 | 36 様々なキャリアプラン |
| 10 若手VOICE | 37 キャリアアップサポート |
| 14 Project story 監査業務 | 38 業務効率化への取り組み |
| 16 Project story IPO業務 | 40 女性座談会 |
| 18 Project story パブリック | 44 充実した福利厚生制度 |
| 20 Project story 国際業務 | 45 子育て支援制度 |
| 22 Project story 金融業務 | 46 CSR活動 |
| 24 Project story アドバイザリー | 47 部活動 |
| 26 Japan Office ～拠点情報～ | 48 法人概要 |
| 28 大阪事務所 | 50 総括代表挨拶 |

太陽有限責任監査法人とは？

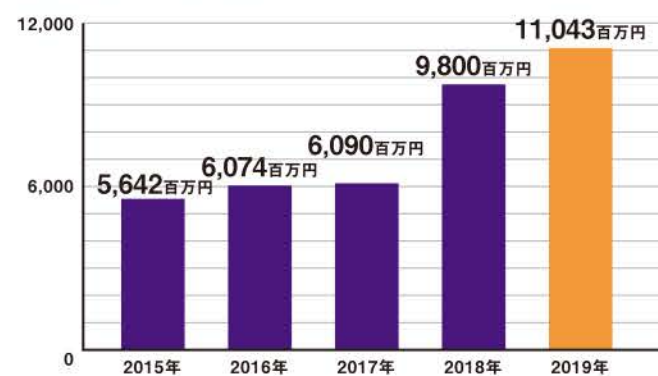
日々、成長を続ける太陽監査法人の強み

太陽監査法人は、さまざまな経験に裏付けられたプロフェッショナルの集団であり、ミッドサイズならではのフットワークのよさを生かして、会計監査だけでなく、様々なサービスを多くのクライアントに提供しています。個人の成長が組織の成長につながり、その成長がクライアントの成長をしっかりと支援し、変革が求められる監査業界において、新たに挑戦し続ける監査法人です。

業務収入は、安定的に成長

2018年には、優成監査法人と合併。2019年度の業務収入は、11,043百万円となり、過去最高を更新し続けています。これは、すべての職員が自らの成長とともに積み上げてきた結果です。職員が各自の成長を感じることはもちろん、法人の成長を肌で感じることができるのも、太陽監査法人の特長です。これからも個人の成長を重視し、そして法人の成長へとつなげていきます。

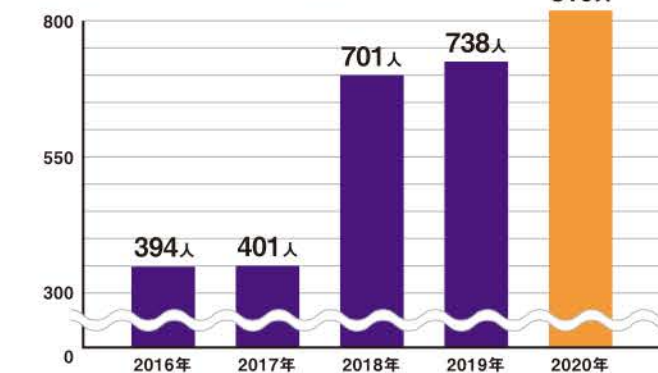
業務収入 2019年6月末現在



魅力的な“人”が集まる法人へ

人員数は、法人の成長とともに毎年増加し、常勤で819人、非常勤を含めると1,000人を超える規模となりました。法人の成長には、そこで働く“人”の力が不可欠です。だからこそ、働きやすい環境を整え、職員が生き生きと活躍することで、魅力的な法人になると考えています。人員数の増加はその結果であり、“人”の成長そして法人の成長につながっています。

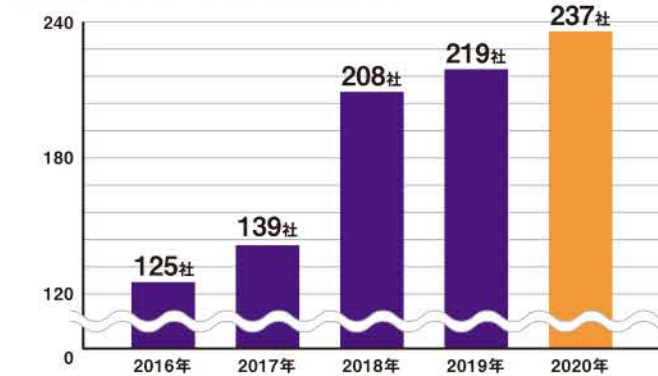
人員数 2020年3月末現在 ※非常勤職員は除いています。



一つの信頼が次の信頼へつながる

上場クライアント数も毎年増加しており、2019年度は237社となりました。それに伴い、クライアントの業種も、製造業、サービス業、不動産業など多様化しているため、様々な経験を積むことが可能です。監査現場で多様な経験を積んだ監査チームが各クライアントに対して、高品質なサービスを提供できているからこそ、クライアントからの信頼を得て毎年の増加につながっていると考えています。

上場クライアント数 2020年3月末現在

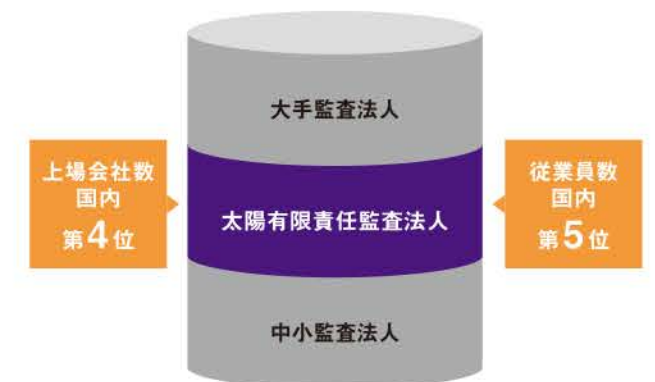


グローバルなミッドサイズファームという特異なポジション

日本国内で他には類を見ない規模で存在感を示し続ける

太陽監査法人は、今までの組織に無い特色を備え、成長を続けるプロフェッショナル集団です。「Growing Together」という合言葉の下、従来の監査法人とは全く別の新たな監査法人を目指しています。

太陽監査法人は総合的な規模としては、5番手に位置する監査法人となりますが、上場クライアント数では第4位に位置する監査法人です。今後も成長を目指しますが、決して規模だけを追求する監査法人ではありません。この規模感でしか出せない特徴を最大限に発揮し、大手監査法人でも中小監査法人でもない、太陽監査法人独自の路線で、新しい時代を切り拓いていきます。



大手と中小の長所を兼ね備えてさらなる成長を目指す

太陽監査法人は、大手監査法人と中小監査法人のそれぞれの強みを兼ね備えた国内ではユニークな監査法人です。このユニークさが人の成長を促し、組織の持続的な成長につながります。

太陽監査法人では、大手の規模感と中小の規模感の中間にあるため、大手の様に多様なクライアントが多くあり、多くの経験を積むことができます。また、中小の様に迅速で柔軟な対応を図る事もでき、監査チームも大きくないことから、若いうちから多くの業務を経験する事ができます。

大手の強み

- クライアントの多様性
- 監査の品質
- グローバルネットワーク

中小の強み

- 多様な業務の同時実施
- パートナーとの距離感

太陽有限責任監査法人の強み

グラントソントンネットワーク内のポジション

太陽監査法人は、成長に伴いグラントソントンネットワーク内においても、そのポジションが高まってきています。日本からグローバルへ発信する機会も今後ますます増えていきます。

太陽監査法人は、グラントソントンインターナショナル(GTIL)と連携し、そのネットワーク、人材育成プログラム、情報システム等の経営資源を最大限活用しています。また、メンバーファーム内6番目の規模の国として、GTILの経営戦略を策定する会議体に常任国として参加しています。これからグローバルの活動に積極的に関与して日本の意見を発信し、GTILの世界戦略がより優れたものとなるように取り組んでいきます。



執行部門常任国



上位6カ国



Grant Thornton
加盟国
約140カ国

太陽有限責任監査法人だからこそできること

同時に多様な業務に携わる働き方

太陽監査法人には多様な業務がありますが、業務ごとの部門を設けていません。そのため、複数の業務を同時に担当することができ、個人の希望に応じた成長を後押ししています。

東京事務所では、アサインメントグループ制を導入しています。「グループ制」と聞くと、業種別に分かれた「部門制」と同様のものを思い浮かべるかもしれませんが、東京事務所のグループは、業務や業種によって設定したものではなく、あくまで情報の共有や職員の成長を支援する目的で管理単位として設けているものです。従って、どのグループも1つの業務や業種に偏ることなく、幅広い業務や業種、クライアントを持っており、どのグループに配属されたとしても、その中でさまざまな経験を同時に積むことができます。

一般的な組織体制

部門が分かれているため、部門の垣根を超えるような多様な仕事を同時にはできません。



太陽の組織体制

部門が分かれていないため、同時に多様な業務が実施できます。

	Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
監査業務				
IPO業務				
パブリック				
国際業務				
金融業務				
アドバイザー				

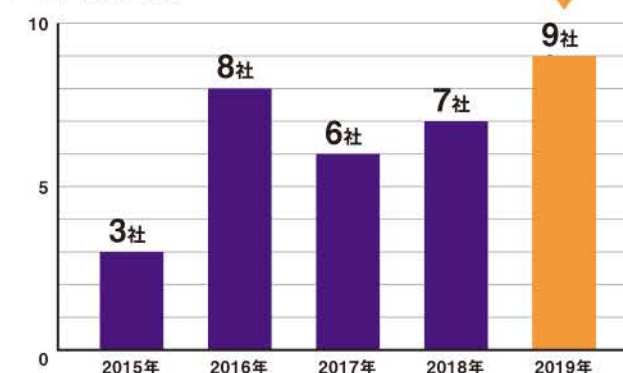
大多数がIPO業務に関与。指導的機能の発揮で個人の成長が加速

太陽監査法人では、ほとんどのスタッフがIPO業務に携わります。マーケットでの存在感が上昇していく中で、クライアントと共に個人も著しい成長を遂げます。

IPOマーケットでの存在感は上昇しており、国内第4位の9社の上場実績を出しています。

太陽監査法人のIPO業務は、IPO準備のプロセスを上場審査をパスするだけの作業的なものにせず、クライアントの永続・持続的成長のための「強い会社づくり」に資するプロセスにすることを重視しています。そのため、クライアントと共に成長できるフィールドが太陽監査法人にはあります。

IPO実績社数

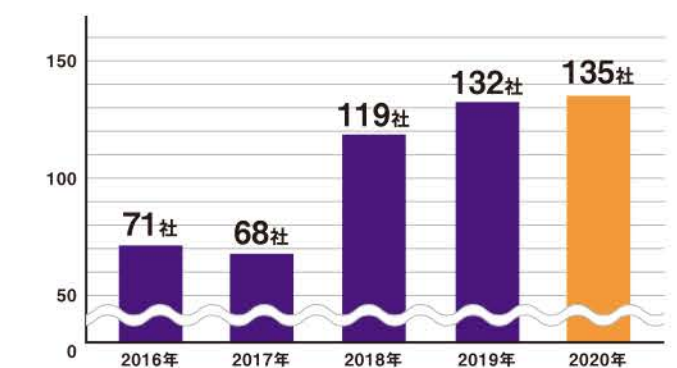


パブリックセクターにおいてはあらゆる業務を経験可能

太陽監査法人では、部門制を取っていないため、希望があればパブリック業務に従事できます。パブリック分野全般に携わることや、ある特定の分野のみ従事し専門性を高めることも可能です。

パブリックの世界では、公認会計士が活躍できるフィールドが毎年拡大しています。例えば、2017年度には一部の社会福祉法人への法定監査が開始され、2018年度からは医療法人にも範囲が及んでおり、今後も目が離せない領域であることに間違いはありません。太陽監査法人では、社会福祉法人、医療法人のみならず、パブリックセクターの業務の幅が広いいため、様々な業務にチャレンジすることが可能です。

パブリッククライアント数 2020年3月現在



生み出されたシナジー効果が、真のプロフェッショナルとしての土台を作る

多様な業務を同時に行うことで得られた経験や知識を生かすことが、成長を実感し、個々人の強みを作り上げられる機会となります。

多様な業務に同時に携わることで、それぞれの業務において身に付けた経験や知識を他の業務においてもタイムリーに活用する機会が多くなります。また、同種の業務を経験しているだけでは得られないことのない新たな発見があることで成長を実感しやすく、個々人の強みを作りやすい環境が生まれます。現在のダイナミックに変動する経済環境の中で会計や監査のプロフェッショナルとして、クライアントの成長を超えて適時的確な対応やアドバイスを行うためには、多様な業務を経験することで得られるシナジー効果が大きな土台となります。



Growing Together 三位一体の成長を

「公共財の提供者」として、太陽監査法人は個人とクライアントの成長を促す監査法人を追求します。

監査は投資家保護を目的とした資本市場のインフラであり、私たち公認会計士のみに任された業務です。太陽監査法人は「公共財の提供者であること(≡資本市場のインフラであること)」を法人が目指す方向性の一つとしています。法人は多様な業務に従事させることで個人の成長を促します。個人の成長は、指導的機能を十分に発揮することによりクライアントにとって財産となります。そして、そこで得られた信頼は監査法人にとっての財産となります。このような成長サイクル(=Growing Together)を生み出すため、公共財としての環境整備を太陽監査法人は常に追求します。



太陽有限責任監査法人で携われる業務内容

広範囲で経験を積みキャリアアップできる

太陽監査法人はプロフェッショナル集団ならではのフットワークの良さと、様々な業務を多くのクライアントに提供しています。より一層の成長機会を手にする環境が整っています。

監査業務



幅広いフィールドの監査業務

若い年次から複数の業種、様々な規模のクライアントへ往査し、多角的に物事をとらえる能力を身につけます。また、現場責任者である主査業務を経験することで監査の全体像をつかむことができます。

IPO業務



新規上場を目指す会社への監査業務や アドバイザー業務

上場企業だけでなく、IPO業務(株式公開支援)にも従事する事で、より会社のためになる、提案・指導する力が身に付きます。

パブリック



監査の公共性、社会貢献を実感できる フィールドがあります

パブリック・アカウンタビリティ(公的説明責任)を実現すると共に、会計監査等を通じて、公共機関の仕組み、税金の流れ、延いては社会全体の動きを肌で感じることができます。

国際業務



グラントソントンのネットワークを活用した国際業務

世界中のネットワークファームと連携して、ボーダーレスな業務に従事します。業務を通じて、英語力の向上、国際的に活躍できる力を養うことができます。

金融業務



我が国の金融システム安定化の一翼を担う金融監査

金融機関が関与する様々な業界の理解が蓄積され、金融監査で得た知識や経験を、事業会社の監査へ生かすことで、会計士としての視野が広がります。

アドバイザー



投資実行時に必要となる スペシャリストサービスを提供

グループ会社と連携して、幅広いアドバイザー業務を提供します。監査とは目線の異なる業務を実施することで、物事を色々な角度から検討する能力が養えます。

その他の業務



品質管理業務、業務推進業務、執筆業務、会計士協会業務、リクルート業務 etc.

若い年次から様々な経験を積める環境

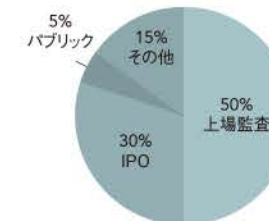
自分なりの会計士像を描き、チャレンジする

自分なりの会計士像を描くためには、様々な業務で得た知識や経験が重要で、それが会計士としての力に直結することはもちろん、キャリア形成を考える上でのヒントになります。太陽監査法人はそのフィールドを提供し、様々な会計士像を描く個人のチャレンジ・希望を取り入れ、成長支援することを重要視しています。



犬飼 元氣

Genki Inukai
東京事務所 スタッフ
2018年入所



私が太陽を志望したのは様々な業務を通じて成長できると感じたからです。入所当時の期待通り現在では監査以外の業務も行っています。また、行いたい業務の希望が通りやすいので自分の目標に向けて日々成長を感じています。



竹内 和夏

Nodoka Takeuchi
東京事務所 スタッフ
2018年入所



様々な会社や人々にかかわることで、「ある会社の監査で学んだことが別会社の監査でも役に立ち、ある会社の監査で感じた疑問が別会社の監査で新たな目線で考えるきっかけになる」といったような、部門レスのメリットを多く感じています。



肥土 伸太郎

Shintaro Akuto
東京事務所 スタッフ
2018年入所



初度監査のIPOでは過去の情報がないため、自分で考える状況が多くなります。それは、きっとのちに役立つものであり、貴重な経験であると感じています。太陽の新規のクライアントは増えているため、このような機会は得やすいと思います。



水野 洋平

Yohei Mizuno
東京事務所 スタッフ
2018年入所



入所以来、多様な業務・企業に携わることができ、最近ではSPC・ファンド監査等、更に経験の幅が広がっています。希望次第で様々な挑戦を続けられるので、自分の理想とするプロフェッショナルを目指すには最高の環境だと感じています。



山田 大誠

Taisei Yamada
東京事務所 スタッフ
2019年入所



上場監査だけでなく、幅広い分野や立場のクライアントと接しています。様々なクライアントに行くことで、どういうニーズの違いがあるのか、自分に何が足りないのかを日々感じることができ、成長する機会が多いことを実感しています。



高 彩加

Sayaka Ko
東京事務所 シニアスタッフ
2015年入所



太陽は若い年次から主査業務を行う環境があるため、会社の方と会計論点を直接議論する機会が多いです。そのため、日々、知識の蓄積やコミュニケーション方法の習得に励みながら、自身の成長、やりがいを感じています。

若手VOICE

働き方を知る、未来を語る。

人生100歳時代に生きる20代の若き会計士4人。
太陽でたくさんの経験と実績を積んで、世界へ飛び出したい人、
出産・育児等があっても男性と同じようにバリバリ働いていきたいと燃える女性。
それぞれの人生と仕事がリンクして、会計士生活がスタートします。



肥土 伸太郎

Shintaro Akuto

2年目(J2)
東京事務所 スタッフ

Road to TAIYO

大学生活での目標を探しているなか、大学の経済学部経営学科で簿記を初めて勉強。簿記の面白さもあいまって、在学中の目標設定できる会計士を目指した。群馬県出身の23歳

佐々木 春菜

Haruna Sasaki

1年目(J1)
東京事務所 スタッフ

Road to TAIYO

周りが就職活動を始めたタイミングで、環境会計学の授業を受け、「会計を使っているんことができる」ことを知り、資格で食べていける会計士を目指した。農学部出身の23歳

矢作 匠

Takumi Yahagi

1年目(J1)
東京事務所 スタッフ

Road to TAIYO

自営業の父親の確定申告を手伝いたいと税理士を目指して商業高校へ。高校で簿記や会計を学ぶうちに楽しくなり、会計士に挑戦した。21歳の大学4年生、商学会計学科在籍中

犬飼 元氣

Genki Inukai

2年目(J2)
東京事務所 スタッフ

Road to TAIYO

大学では考古学を専攻し、プロサッカー選手を目指していたが、ケガで引退。税理士の父親の影響を受け、通信で会計士の勉強を始めた。東京都出身の23歳

※アンケートグラフは定期入所のJ1・J2のうち62名から回答を入手しグラフ化したものです。

Q1.太陽を選んだ理由を教えてください

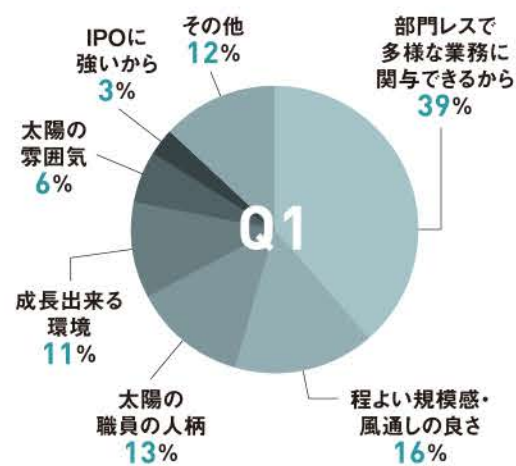
犬飼 「いろいろな業務・業界の仕事ができて、成長が早い」ことに魅力を感じて太陽に決めました。大手企業の一部に関わるより、中小企業の監査全体を見られることや、それがIPOに活かせることなども決め手でしたね。また、リクルーターの方の話と人柄にも惹かれました。

肥土 法人説明会を回っているとき、IPOとパブリックに興味を持ったのですが、他の監査法人では「部門移動しないとできない」と言われ、両方に関われるのは太陽しかありませんでした。職員の方々は皆さん、私の話をしっかり聞いてくれ、尊敬できる人とも出会えたことから、太陽に決めました。

佐々木 最初は大手法人を回っていて、「どんな業務に興味がありますか?」と必ず聞かれたのですが、実際に働いたことがないのでよくわかりませんでした。太陽の説明会での、「太陽なら何でもやらせてあげられるよ。入ってから得意なことを見つけたらいい。」というパートナーの言葉で入所を決めました。リクルーターの人間性に惹かれた部分もありますし、入所後も親身になってくれる上司が多いと感じます。

矢作 太陽の魅力は部門レスなところですね。IPOと国際をやりたいくて10法人ほど回りましたが、「法人の規模が小さすぎるとIPOと国際はそもそもクライアントがないよ」と言われたことで太陽と出会いました。太陽はミッドサイズですが、クライアント数も多く、希望も聞いてくれて、将来、グラントソントンの税理士法人やアドバイザー会社に出向の形で勉強もできます。実は法人説明会には2年連続で参加したのですが、2年目に職員の方が私のことを覚えていてくださって、すごくうれしかったですね。

J1・J2 アンケート結果



Q3.希望した業務に関与できていますか?

犬飼 現在は上場会社の監査3社とIPO2社を担当しています。入所前はIPOの業務を希望していたので、希望した業務にしっかり関与させてもらっています。指摘事項が少ない上場会社の監査を参考に、IPO準備会社で自分の知識を使って、経理担当の方にアドバイスをしているときはやりがいを感じますね。

肥土 現在は上場会社の監査2社とIPOの2社、IFRS移行会社と他にも数社の業務があります。私の希望業務の1つにIPOがありました。関与した会社のうち、新規のIPOクライアントがあり、そこでは過去調書がないので、調書を一から作成していくのはとても難しかったですが、手続の意味を考えるいい機会でした。新規のクライアントの受注もあるので、このような機会を得やすいと思います。

佐々木 私は12月に入所したばかりですが、これから担当するのは上場会社の監査2社とIPOが中心になると思います。分野にとらわれず、様々な業種の監査やIPO等、幅広い業務に携わりたいと考えていたのですが、実際に多くの会社に行かせてもらっているので満足しています。上場会社の監査を経験して知識を蓄えながら、並行してIPOに携われることは得られるものが多いと感じます。

矢作 私はIPOと国際業務が入所時の希望業務でした。私も入所したばかりですが、現在は上場会社の監査2社とIPOを2社担当しています。国際業務については現在担当していませんが、今後担当させていただけると聞いていますので、希望業務は考慮していただいていると感じます。

Q2.入所後の1年間はどうか?

犬飼 「J1の1年間」を見ると去年を思い出しますね。担当会社によって個人で、繁忙期は変わることもありますが、私は9月決算の現場とリクルート活動が重なった10月と11月が忙しかったです。一方で、夏休みは有給をプラスして、海外と国内旅行に行くことができました。去年は、受験生の時とは違う成長を実感できた1年間だったと思います。1年を過ごす中でまた新たな目標も見つかりました。

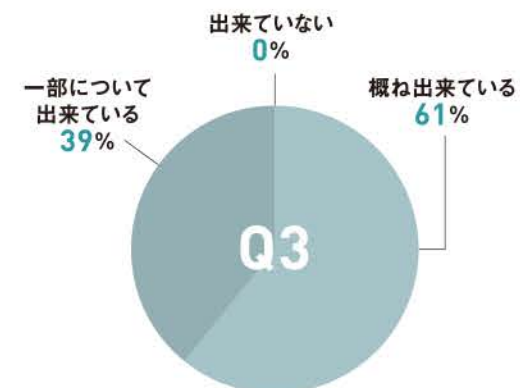
肥土 私は3月決算、そのあとIPOの5月決算と期末が続いた時期が大変でしたね。最初の数カ月は、右も左もわからず悩んでしまうことも多かったですが、でも、仕事で一緒にいる先輩も増えていき、先輩や同期の皆さんに相談やアドバイスもらえたことが転換点になったと思います。業務以外にも語学研修などを経験し、多くのことに挑戦できた濃密な1年でした。

佐々木 最初の1ヶ月はしっかりと研修を受けられます。それでもやはり初めての現場は緊張しました。何をすればよいのか分からない時でも、チームの先輩や主査の方が一から丁寧に教えて下さっているの、着実に前に進むことができています。3月決算の会社を担当しているのでGWはないですが、今から夏休みが楽しみです。

矢作 最初の研修は覚えることが多く大変でしたが、現場に出てすぐに覚えた知識が役立つので研修を受けて良かったと思いました。現場では周りの方が親身に相談に乗って下さり疑問を解決して下さるため、日々成長していることを実感しています。2月決算と3月決算で当分忙しいので夏休みを多めに取りたいと思います。



J1・J2 アンケート結果



Q4.話しやすい・相談しやすい環境だと思いますか？

肥土 思います。私が悩んでいた頃、数人の先輩に相談したことがありました。その皆さんが親身に聞いてくれて、その後も気にかけてくれたことは、とてもありがたく助かりました。私が質問した時、自分の作業進捗が良くない時でも丁寧に教えてくれる先輩も多く、私もそのようになりたいと思っています。また、定期的にコミュニケーション担当との面談の機会が用意されているので、相談のタイミングが見つからなかった時でも相談できる機会があるのは助かっています。

犬飼 私もそう思います。もちろん人対人なので全員がそうだとは言えないかもしれませんが、太陽には話しやすい先輩や上司の方が多いです。

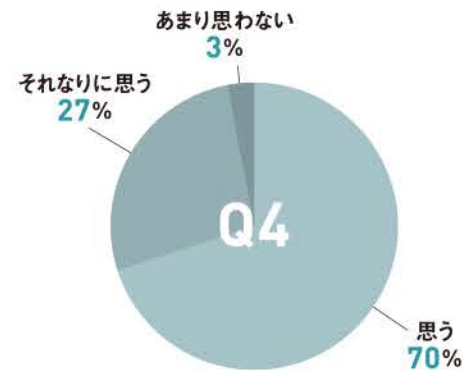
入所したばかりの時にリクルートで関わった先輩や上司の方に話しかけてもらえた時は嬉しかったですね。同期でも仲が良く、将来について話し合ったりできるので本当にいい仲間に恵まれたなと思います。

佐々木 どの年次の方とも距離が近く感じられるので、その分コミュニケーションは取りやすいですね。入所してからは、事務的な手続きや実務的な側面でたくさん疑問が出てくるのですが、どの年次の方も聞けば優しく教えてくれますし、聞かなくても雰囲気を察して教えてくれることもあります。またパートナーの方も、事務所内でお会いした時には話しかけてくださることもあり、とても身近に感じられます。

矢作 私も話しやすさは実感しています。初めての現場では分からないことが多くありましたが、質問しづらい雰囲気は全く無く、先輩がその都度作業を中断してまで教えてくださいました。

また、佐々木さんの言うようにパートナーとの距離の近さは私も感じていますね。パートナーに気軽に話しかけていただけるというのは太陽の風通しのよさを表していると思います。同期とても仲が良く、頻繁に連絡を取り合い相談したり食事に行ったりしています。

J1・J2 アンケート結果



Q5.日々成長を感じていますか？

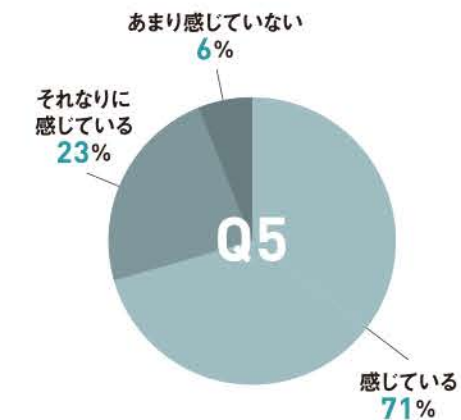
犬飼 社会人1年目は、対クライアントコミュニケーションでは苦勞しました。言葉遣いという意味ではなく、クライアントに対する仕事としての会話に慣れてなくて、「伝え方」で苦戦していますね。その一方で、コミュニケーションの機会を積むことで徐々に会計知識がない人に説明する技術が身についてきているのは成長の実感としてあります。仕事以外にもリクルート関連の業務や、忘年会の業務を任せてもらって様々な経験をしながら過ごせています。

肥土 入所1年ちょっとになりますが、山あり谷ありですね。最初の半年は3社ほど担当しましたが、調書の作り方ですごく悩みました。しかし、半年過ぎて、いろんな会社で様々な調書の書き方を見ることができたので、その経験がIPOの新規クライアントで活かしていますね。IPOは自分で考えることも多く難しいですが、その分、できるようになった時には成長も感じやすいのでやりがいがあります。

佐々木 入る前のイメージだと3社ほど担当するのかなと思っていましたが、入所3ヵ月で7社ぐらい関わっていて、思っていたより色々な会社に行かせていただいています。それぞれの監査の現場で色々な主査の方と関わるので、その方々の監査の仕方や見方などの違いが面白いと感じますし、大規模な監査チームに張り付くよりも自分の性格にも合っていますね。

矢作 入所3ヵ月は研修が多かったですね。その当時は大変だなと思いましたが、現場を経験するうちに会計士は専門知識のアップデートが常に必要なことを痛感しました。現場では、自分より年次が上の方の仕事なども様子を見ながら任せてくれて、分からないところは詳しく教えてくれるので、徐々に任せられる範囲が増えていくことで自分が成長している実感があって楽しいです。

J1・J2 アンケート結果



太陽DATA

男女比



2020年3月現在の常勤職員

IPO関与率(J2)



5日間程度以上のアサイン関与

パートナーとの距離が 近いと感じる若手



J1・J2にアンケートを実施し、
5段階評価で肯定的な2肢を選んだ人の割合

定期入所者 3年離職率



直近3年間の定期採用の入所スタッフの離職率
2020年6月末現在

◎受験者の皆さんへメッセージ

犬飼 自分が「将来何をしたいのか」を明確にした上で複数の法人を見て、目標に合っている法人を選んでください。「何をしたらいいかわからない」という方は、法人を見て回っているうちに、興味がある分野が出てくると思いますので、受験生の方々にはもし可能なら合格発表前に多くの法人を見て回っていただきたいです。「太陽に入って成長したい!」という人と監査チームと一緒に頑張りたいです。

肥土 多くの法人の説明会に行くうちに、イメージできなかった会計士の業務分野が分かってくるはず。太陽は、多種多様な魅力を持った会計士がいて、複数の業務ができる機会があります。積極的に声を挙げれば、やりたい仕事ができるので、チャレンジしがいがありますね。また、驚いたのは監査グループの懇親会の高い出席率で、法人内の交流の強さを感じました。

佐々木 仕事の実務はイメージしにくいですが、自分が「どんな会計士になりたいか」を想像して、法人を決めるのがいいと思います。私は、会計士としての知識を活かし、多方面の知見を持った会計士になりたいと漠然と思い描いていました。太陽は、部活動に積極的だったり、忘年会の雰囲気が変わっていたり、仕事以外でも人と人の距離が近くて、法人の中の繋がり独特です。

矢作 私自身は10法人ほど回りましたが、それぞれの色があるので、違いを肌で感じることは大事です。自分の背中を押してくれたのは、「太陽なら成長が早いよ」という声でした。入ってみると、人が良く、雰囲気が良いし、幅広いバックグラウンドを持った同期と出会えて、話をするのが面白いです。

犬飼 自分の将来の目標は、太陽で経験と実績をつけて、世界へ飛び出すこと。そのために常に自分の目標を意識して仕事や勉強を頑張っています。

肥土 将来は無限に選択肢があると思うので様々なことに挑戦したいです。海外赴任も視野に入れていて、語学研修でのコミュニケーションの経験から刺激され、今後も英語の勉強を続けていこうと思います。英語は得意ではありませんが、頑張れば伝わるのがわかったのが収穫です。

佐々木 将来の夢はまだ具体的に設計はしていませんが、監査以外のコンサルなどもやってみたいし、海外にも行ってみたい。勉強しながらやりたいことを積極的に見つけてトライしたいです。

矢作 自分の夢も犬飼さんのように枠に囚われないで大きく飛び出したい。そのためにも「太陽の矢作」をアピールしたいです。

監査業務



阿部 泰大

Yasuhiro Abe

2015年入所 東京事務所 シニアスタッフ

太陽を選んだ理由を尋ねると、「太陽は法人説明会のリクルーターの方の印象が素晴らしくて、皆さん話が首尾一貫しているし、全員で良い組織を作ろうという雰囲気を感じました。特に“人”を大切に作る風土に惹かれて入所の思いが強くなりました。入所しても期待していた通りの組織で、コミュニケーションが活発で風通しが良く、互いに協力し合う風土を感じるので、入ってよかったなと思います。良好なコミュニケーションのもと、温かい職場を求めている人には最適ですね。」とにこやかに話す阿部泰大さん。40ページからの女性座談会に登場している高彩加さんと同期で、「お互い主査になったばかりの5年目で、置かれている状況も似ていますね。同期は仲が良くて、一緒に旅行にも行きます。」



入所5年目を迎え、監査現場を管理する主査業務が中心となっており、上場会社監査からIPO業務、学校法人監査まで様々な監査業務を担当している。さらにスポットでスタッフ業務も継続する等、充実した日々を過ごしている。

一生の宝です！



幼少期からずっとサッカーを続けています。特に高校生時代のサッカー部の同級生とは今もチームを作って活動しており、毎年正月に高校のOB戦が開催され、現役生徒との交流も継続しています。写真は2020年のOB戦の時に撮影したものです。気の置けない仲間と過ごすことで活力を貰っています。

監査を柱に、両脇にIPOとパブリック。 会計士として持っている“3つの目”

太陽に入所したとき、一般事業会社の監査業務、IPO業務のほかに、当時の太陽のスタッフ育成方針として、通常の監査業務のみではなく、「学校法人か金融機関」の業務も担当することになっていました。そんな経緯もあって学校法人の監査業務を担当することとなり、以来5年目の現在も継続して担当しています。学校法人の目的は営利追求ではなく、教育サービスという国民生活の根幹となるインフラを安定して提供することが最も重要であり、計算書類の構造も一般事業会社のそれと異なっています。そのような違いに応じて、一般事業会社の監査とは異なる視点による検討を行うことがあります。学校教育は学費の無償化や入試制度の改革など、社会の要望に応じて変化していきます。実務担当者として深く話ができる機会もあるため、継続して監査を行っているからこそ些細な変化にも適時にキャッチアップしていくことができます。学校法人と事業会社では実務上の考え方や業務の進め方が異なるので、並行して仕事をすることから多くのものを吸収でき、俯瞰的な目線を養うことができます。また、上場会社の監査を行っているからこそ、IPO対象会社の不足している部分が見えることもあり、IPOでは監査で求められる「批判的機能と指導的機能」のうち、指導的機能を強く発揮できる仕事だと感じています。監査とIPOでも実務経験として養える領域が変わってくると思うので、監査・学校法人・IPOの3つの目を持って会計士としての実力をつけていきたいと考えています。

次のステップとして今は何か新しいことにチャレンジしたいというタイミングではないと感じていて、現在の主査としての監査のとりまとめ役について少なくとも更に2〜3年経験を積んで行きたいと考えています。その上で、例えば海外駐在や監査以外の専門的な領域への挑戦など、変化を目指していくことも考えられると思いますが、今は目の前の業務を頑張っていきたいですね。



太陽は、自分の可能性に気づきやすい法人。 5年目からの伸びしろを楽しみにしています。

太陽に向いている人は、「自分の成長可能性を広げたい人」です。皆さんは法人に入ってどういう仕事をしていくのか心配な部分もあると思いますが、太陽は風通しが良い環境の中で、パートナーからスタッフまで距離が近い組織体です。このような組織体の中で若い年次の人は、しっかりした知識を得られて、アウトプットする機会もあり、仕事をしていくうちに、例えば「アドバイザー業務をやりたい」と思ったら手を挙げることもできます。法人内では、素晴らしい上司を見ながら成長できる縦の関係に加えて、同期や監査チーム内での横の関係も良好なので、縦横と良いバランスを取りながら、自分の可能性に気づきやすい環境があると思います。自分の目標はまだ明確ではありませんが、自分の可能性を楽しみにしていますし、これからの自分にどれだけの伸びしろがあるのか、自分でも期待しています。

私が「会計士として大切にしているもの」は3つあります。1つ目は、チーム内でもクライアントとの関係でも根幹に関わってくる「人」を大事にすること。やはり人と人のコミュニケーションが基本です。2つ目に大切にしているのが「時間」で、仕事量が増えるにつれ、タイムマネジメントが課題になってきています。ルーズにならないように気をつけて、毎日の積み重ねで信用を得ていきたいと考えています。3つ目は、「傾聴」です。文字通り耳を傾けることですが、監査は、クライアントの主張や考えを聞き出すことから始まります。その上でアサーティブ（自他のいずれも尊重しつつ、自分主張を率直・対等に表現するスキル）なコミュニケーションを目指しています。

IPO業務

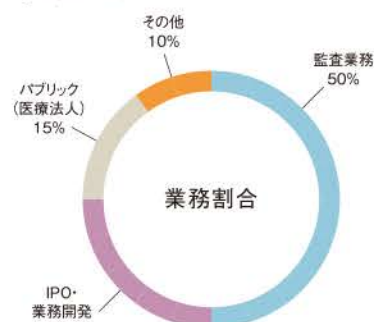


今井 裕之

Hiroyuki Imai

2008年入所 東京事務所 マネジャー

今井さんが太陽に入所した2008年はリーマン・ショックの年。「IPO業務って、何か楽しそうだなと思って入所しましたが、なかなかチャンスが巡ってきませんでした。今年はコロナショックが起きていますが、リーマン経験者からすると、「明けない夜はない」。経済に浮き沈みはありますが、長い会計士人生の中で、経済が沈んでいるときにどれだけ力を蓄えられるかが大事。常に前向きに頑張してほしいと思います。」とメッセージを送ります。キャリアのスタート地点を振り返ってもらくと、「今はパートナーの当時の上司を見て、人間力や仕事への姿勢に真のプロフェッショナルを感じ、この人たちは宇宙人か?と思いましたね。」と笑いますが、「太陽には良い手本となる先輩や上司、後輩が多くいたからこそ、仕事を続けてこれた。」と続けます。



上場企業の主査を経験後、2013年に総務省行政管理局へ転籍し独立行政法人改革に従事。2015年の復職後は、上場会社の監査業務のほか、IPO案件の新規受嘱のための営業活動や、非営利統括支援室のメンバーを兼任している。

週末は、パートナーと遊んでリフレッシュ!



とある週末はパートナー（上司）と緑の芝生の上で白球を飛ばしあい（ゴルフです（笑））、また別の週末にはパートナー（妻）と散歩をしたり旅行に行ったりしてリフレッシュしています。仕事モードの時と遊びモードの時、オンとオフをきっぱり切り替えるようにしています。

自分の公認会計士としてのサービスラインとしてIPOがあるのは、対外的にも大きなアピールになります

IPO (Initial Public Offering) は、上場申請前2期間の監査意見を付けて、3期目に上場申請する流れが基本です。太陽ではIPO準備期間の各ステージに上場を目指す会社を多く抱えているので、皆さんにもIPO業務を担当してほしいし、力をつけたいならぜひ手を挙げてほしいです。

受験生などからよくIPO業務の説明を求められますが、「野球選手に例えると、高校球児がプロ野球選手もつと言うとメジャーリーガーになるまでつきあうこと。」と伝えています。最初は高校球児なので元氣いっぱいなのですが、管理体制が整っていないことも多いし、自分で問題を解決できない。上場したいという強い気持ちだけでは上場できないので、一緒にルールや仕組みを作り上げていきます。私はこの期間が好きで、会社が成長していること、自分自身も会計士として成長していることを強く実感します。

IPO業務を担当する上では、「メジャーリーガー」である東証一部上場会社の監査経験があったことも大きいです。例えば、高校球児であるIPO準備会社に対し改善提案をする必要がありますが、プロ野球選手である上場会社の監査経験があれば目指すべきところをわかりやすく伝えられる。若い年次からIPO業務と上場会社の監査を並行して担当できるのは、皆さんにとって大きな財産になると思います。IPO業務はとてもやりがいのある仕事ですし、皆さんにもやりがいと晴れて上場したときの達成感を味わってもらいたいですね。また、会計士としてIPOを経験し実績を挙げていることは、対外的にもアピールになります。



監査業務以外もできる会計士になりたい人、コツコツ努力を重ねられる人は大歓迎です

太陽には、法人説明会で出会ったリクルート担当のパートナーに「この人と働きたい」と直感し、引き込まれるように入所しました。入所当初は、学生非常勤で社会人経験もなく、緊張して名刺さえ渡せず、電話の出方もわからなくて、おろおろしていました。監査業務では、分からないところを自分で調べて、上司に確認し経験として積み上げていく努力をし、視野を広く持つことを心がけてきました。そんな私の今があるのは、会計士人生の中でターニングポイントごとに、「頼まれたものは拒まない!」をポリシーとしてきたからだと思っています。今後は、さらに業種の幅を広げることや、会計士としてのサービスラインを増やすとともに「太陽」のブランド価値をどんどん上げていきたいですね。今の太陽はビッグ4でもなく、中小でもないところが強みになっていて、そういう太陽に賛同してくれるクライアントとの付き合いを大事にしています。事務所内ではパートナーからスタッフ・アシスタントまで距離が近いし、部門制を敷いていないことから機動的に動けることが大手事務所との一番の違いでしょうか。大手事務所では、絶対に私のような業務割合にはなりません。

太陽に向いている人は、コツコツ努力できる人。私自身もそうでしたが、論文式試験に合格した時点では、「いろんなことにチャレンジしたいけれど将来どうなりたいか」は正直分からないと思います。でも、安心してください。太陽にはそんな皆さんを受け止めるフィールドがあります。

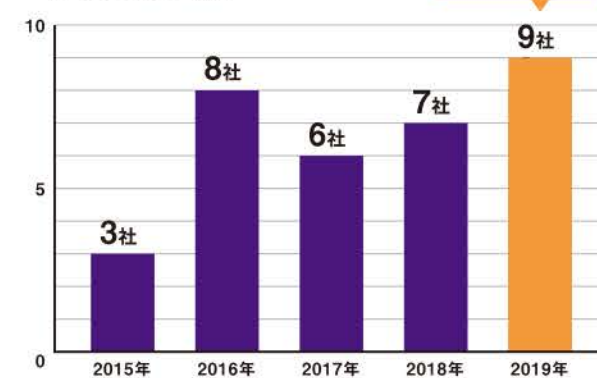
IPOとは

約0.2%。これは日本国内の株式会社（約200万社）のうち上場会社（約3,700社）の割合を示しています。

IPOとは、Initial Public Offeringの略語で、日本語では「株式公開」や「新規上場」と言われています。具体的には、会社が証券取引所において、第三者による自社の株式売買を可能とすることを指し、IPOを経てはじめて、東証等の株式市場で売買される株式となります。

企業にとっては上場することにより、直接金融市場から広く資金調達することが可能となるばかりでなく、知名度が上がり、社会的な信用を高めることができるといった効果もあります。また、IPOの過程では、業績ばかりではなく、会社のコーポレートガバナンスのあり方と向き合う機会となるため、継続的な成長を目指す基礎を築くことにもつながります。それゆえ、冒頭の数字が示すようにIPOを目指すということは会社にとって険しい道のりであり、証券取引所等の厳格な審査をパスする必要があります。しかしながら、毎年、合併や上場廃止により一定数の上場会社が減少することを考慮すれば、日本経済の健全な発展のためには、毎年、次世代を担う先進的な会社が世の中に出て、経済を活性化させていく必要があり、そうした会社を支えていくことが我々の使命です。

IPO実績社数



パブリック



大木 彩乃

Ayano Ohki

2014年入所 東京事務所 スーパーバイザー

パブリックとは、「国や地方自治体等営利を目的としていない団体で行っている会計業務」のことです。パブリックには企業会計の監査業務の知識が不可欠で、会計士の活躍の場は年々増えていますが、さらに最近のトピックとして2020年4月から地方自治法が改正されて、監査基準による監査が導入されます。監査の充実化とともに、監査法人の役割がさらに重要になります。

パブリックは「利潤追求の一般企業とは役割が違う特殊な会計ですが、行政サービス等の大きな仕事に関わることができる、とても有意義な業務です」と大木彩乃さんは胸を張ります。



地方公会計業務を主業務にしながら、独立行政法人、学校法人及び公益法人の法定監査業務の経験を積み、現在は上場企業会社を主業務としながらも、合間で継続的にパブリック業務に従事している。

私の至福時間



休みには、山景色を見に行き、写真を撮るのが私の至福の時間です。自然のなかで贅沢な時間を過ごすことは、身体のリフレッシュにもなりますが、いろんな人との出会いが一番楽しいです。パブリックの仕事をするようになってからは、日本全国津々浦々行きたい場所も増えました。



パブリックは「人のために」という気持ちを最大限に発揮できる仕事です

自治体が所有している固定資産をいくつ挙げられますか？

答えは、道路、そして学校や、上下水道などがあります。自治体の会計業務で扱っている資産は膨大で、いわゆる社会ストック（資産）の使い道を住民に説明・報告するのが役割です。パブリックには、介護施設、医療法人、学校法人、社会福祉法人、公益法人などさまざまな種類があり、一般企業会計のノウハウから財務面のアドバイスができます。

2017年に、企業会計のメリットを取り入れて新しいパブリックにしようという動きがあって、地方自治体業務が増えました。私は主に東北地方をはじめとした県や市などを担当しましたが、たとえばある市には港があって自治体が船を持っていたり、他の市では観光資源が多かったり、山が多い自治体ではダムメンテナンスが項目に挙がってくるなど、自治体によって成り立ちがすべて異なります。自治体の特長や成り立ち、課題まで見えてきて、この業務にどんどん強い関心を持つようになりました。

自治体のパブリックの導入は、資産の管理から始めて、使い方までの「見える化」がきっかけで、会計士は財政課をはじめとする公務員が効率よく仕事できるように財務書類の作成支援を行います。私がパブリックで一番惹かれるのは、たとえば新しい学校を建てたときに、資産管理として、自治体は100年を超える長期的視点からプランを立てます。その町づくりに真面目に取り組んでいる公務員の姿勢に感動することも多く、熱心な彼らのサポートをしているのが楽しいですね。

自分が取り組みたい仕事で成長していける。太陽はステージを用意してくれました

親戚に会計士がいたので、小さい頃から仕事内容は知っていて、「会計士は会社のために力になってあげられる存在」だと感じていました。法人説明会のときに、公的機関への支援、会社への支援について自分の希望を話すと、「一緒にやりましょう」と言ってくれたのが太陽の入所の決め手になっています。

自治体の自主的な運営と財政の透明化が求められる時代に、公務員の地域に対する思いや考え方に感銘を受けたのはもちろんですが、同時に、地域に根ざした活動をしている一般企業、たとえば建設業・小売業・サービス業などは彼らの仕事の先に「良い町を作りたい」「地域の生活を潤したい」という思いを垣間見ることが多くあります。心から応援したいと思える方々を支援できること、そういう意味ではパブリックも企業監査も私の中では同列です。両業務を実施できる太陽に入所したこと、改めて間違いはなかったと思っています。

現在のスーパーバイザーというポジションはシニアスタッフとマネジャーの間に位置し、現場の主査。監査チームが働きやすい環境を作ると同時に、クライアントとの窓口にもなる大切な任務を背負っていると思います。

私が「会計士として大切にしているもの」は、すべての仕事がスムーズに運ぶための「信頼」を得るための努力を続けること。どんな局面にあっても、人を重視し、「人を見る」こと。そして、会計士として、監査チームの要として、絶えず「笑顔」でいることです。

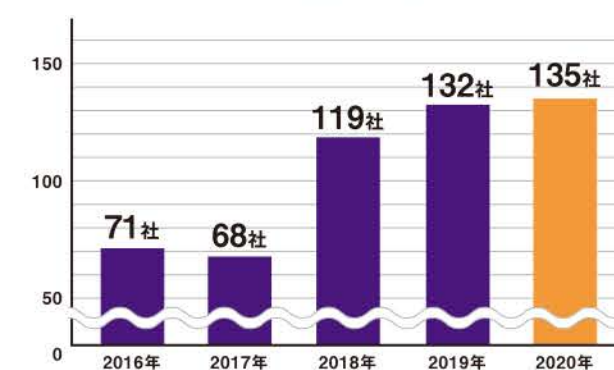


パブリックとは

パブリック分野の監査には「医療法人」「社会福祉法人」「公益法人」「学校法人」「国立大学法人」「独立行政法人」の6つの大きな柱があります。また、現在行っているパブリック分野の主なアドバイザー業務としては、「財務諸表作成支援」が挙げられます。官公庁には監査を受ける義務が未だありませんが、民間と同等水準の財務諸表を毎年公表しており、当該作成の支援を行っています。このように、パブリックの業務といっても幅広い領域があるので、専門性を磨きやすい分野です。

- 独立行政法人に対する会計監査業務、会計・内部統制アドバイザー業務
- 国立大学法人に対する会計監査業務、会計・内部統制アドバイザー業務
- 国、中央省庁に対する会計支援業務、アドバイザー業務
- 地方公共団体に対する会計支援業務、アドバイザー業務
- 国民から負担された税財源で運営されている公益法人、学校法人、医療法人、社会福祉法人などの非営利法人に対する会計監査業務、会計・内部統制アドバイザー業務

パブリッククライアント数 2020年3月現在



国際業務



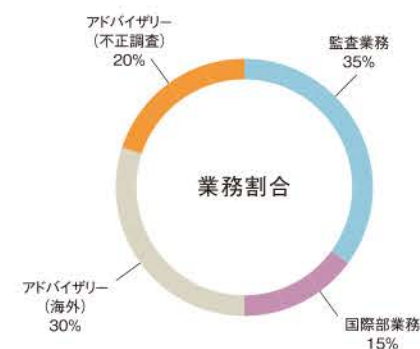
前村 浩介

Kosuke Maemura

2011年入所 東京事務所 マネジャー

前村浩介さんは昨年まで4年間、グラントソントン（以下GT）インドネシアに出向という形で海外駐在を経験しました。「入所2〜3年目で海外に興味が出てきて手を挙げ、5年目に海外へ赴任しました。当初は3年の予定でしたが1年延長して日本に戻ってきました。駐在中は常に全力で走っていて、その意味では100点満点と言えるくらい出せる力を出し切りました。」と答えます。

法人を選ぶとき、「早い段階からクライアントの全体感を見ながら仕事をするを理想としていて、経験できる早さと自分が何を学べるかということしか考えていなかった」そうですが、太陽に入所して「いろんなことをすごいスピードで経験させてもらって、早い年次で海外に行けたことは感謝しています」と、海外での経験を活かし日本での仕事でもフロンティアスピリットを発揮しています。



2013年に3カ月のミャンマー派遣を経験。2015年からインドネシアで4年間ジャバンデスクのディレクターを務め日本に帰国。現在は、国際部に所属し監査や海外アドバイザリー、不正調査業務等に従事している。

都会の喧騒から離れて自然を満喫



インドネシア駐在期間の反動からか、休日は日本を満喫しています。常夏の国で過ごしていたので、最近は四季を感じながらピクニック、キャンプ、BBQ等、自然の中で過ごす時間が幸せな時間です。日本は食べ物も美味しいので、日々日本の良さを家族で噛みしめながら過ごしています。

英語が話せないと自分の存在意義がなくなる！異文化に触れて、自分の成長を確かに感じた

入所2年目から2年間、英会話学校で英語を勉強していましたが、2013〜4年に経済産業省のプログラムでミャンマーへ3ヵ月行った時に、ビジネスで英語がうまく話せず悔しい思いをしました。インドネシアへ行く前にフィリピンで1ヵ月の語学研修も受けましたが、それでもまだ自信は持てませんでした。

インドネシアで前任者からの引き継ぎが終わった直後に、英語でプレゼンをする機会があったのですが、「ここで英語が話せないと海外に出てきた自分の存在意義がなくなる」というプレッシャーの中に身を置いたら恥ずかしさや自信の無さを捨てることができ、一気に殻を破ることができました。英語の抵抗感がスッとなくなっていきましたね。GTインドネシアのジャバンデスクを一人で運営していたので、監査業務、税務、アドバイザリー業務のすべてのサービスラインの仕事をしました。自由度は高く、刺激的で楽しかったけど、その分大変ではありました。インドネシアは経済的にも成長している国で、クライアントも倍以上に増えたので、自分が成長しているはずなのに、帰国まで決して楽になることはなかったですね。

駐在勤務で得たものは、マネジメントのスキルに加えて、異文化に触れたことも大きいですね。外国人をコントロールしながら仕事を進めていく経験は初めてで、プライドの高いインドネシア人は、理屈だけではなかなか動いてくれないこともありました。日本人なら簡単に察してくれるところも、彼らのプライドを傷つけないように伝えたいことを伝えていくことが肝心で、こちらが怒ったら負けです。そこで得たのは、「自分に余裕を持つこと」。どんな時でも気持ちを鎮め感覚を研ぎ澄まして要点を掴むことの大切さを感じました。



会計知識、英語、海外の実務経験の感覚。でも、世界で戦うにはまだ足りない

東南アジアの会計や税務を中心としたビジネスのレベル感については感覚を持つことができたので、次は世界の中でも先進国である欧米に挑戦してみたいと思います。法人内でも「いつかアメリカに行きたいと思っています」なんてことも、包み隠さず言っていますが、欧米で仕事するには英語力をもっと鍛えたいので、その機会に備えてまた勉強ですね。

自分の経験からですが、海外に興味があるならぜひ行ってみてください。日本の会計や監査レベルが世界でどのぐらいなのかを知ることができますし、東南アジアのように会計インフラがまだ発展していない国では、日本の公認会計士の会計知識を発揮できる場面が多くあると思います。

インドネシアへ行って改めて気づいたのは、会計士のできる仕事の幅広さです。駐在前から幅広い業務に携わることができていると思っていましたが、現地では日本で経験していた以上に幅広い仕事をたくさん経験したので、日本にいたときからもっといろいろな業務に携わっていれば……と。そういう意味で、太陽で幅広い経験により力をつけて海外へ行くのはとてもいい環境だと思います。「会計士で、英語が話せて、海外の実務経験の感覚を持っている」人は多くはないので、皆さんもぜひチャレンジしてください。

私が「会計士として大切にしているもの」は、新しい発想を生みだすために好奇心を持って多様なことに触れる「多様性＝好奇心」。時には勇気もいりますが、判断に迷ったときに覚悟を持って自分を信じ抜く「自信」。そして、今自分がしている仕事が「楽しい」かどうか。この3つが自分の中で大切にしている、ポジティブに前を向ける原動力です。

国際業務とは

国際業務は、海外のグラントソントンメンバーファームと連携しながら業務を行っています。

主な業務として、

- リファードアウト業務：太陽監査法人の監査クライアント（日系企業）の海外子会社の監査業務を各国グラントソントンメンバーファームへ依頼し、親会社監査人としての監査を実施。
- リファードイン業務：各国グラントソントンの監査クライアント（外資系企業）の日本子会社の監査業務への対応

それぞれグラントソントンの各国ファームや海外企業とのコミュニケーションが必要になり、英語力、コミュニケーション力、異文化理解力等が求められますが、この能力は、最初の段階にすべて備わってなくても、業務の中や研修、自己研鑽を通じて、徐々に養えます。そのため、業務を通じて様々な成長を感じることができます。



Referred Out
メンバーファームへ業務を依頼

Referred In
在外親会社監査人からの依頼を受けて行う業務（監査、保証、考慮された手続）

その他
● 海外駐在
● 語学研修

金融業務

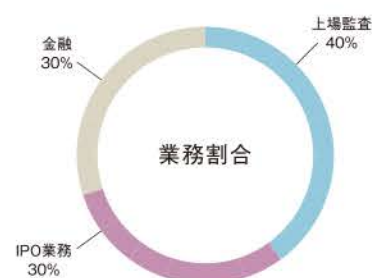


中瀬 朋子

Tomoko Nakase

2016年入所 東京事務所 マネジャー

経済学部出身のバリバリの体育会系で、証券会社に総合職として入社。優秀な成績を残しつつ退社して通信教育で学んで会計士試験に合格。大手監査法人の金融部に所属して10年間、大手都市銀行と証券会社の会計監査を担当。結婚と出産を経て、心機一転、太陽に移ったという経歴の持ち主、中瀬朋子さん。「私たちの仕事は、新基準が導入されたり、法律や税率が変わるなど、日常の業務に加えて新たな基準や法律の内容とそれによる影響を正しく捉えることが不可欠ですが、今皆さんが勉強していることは一番新しく、私たちも知りたいことです。学んでいることは決して無駄になりませんので自信を持って入所してきてください。」と受験生にメッセージを送ります。



大学卒業後、一般事業会社に就職。仕事をしながら会計士試験の勉強を始める。会計士試験合格後は大手監査法人に入所し、金融事業部に配属。10年間在籍。太陽監査法人に転職し、現在に至る。

普段できないことに時間を費やしています！

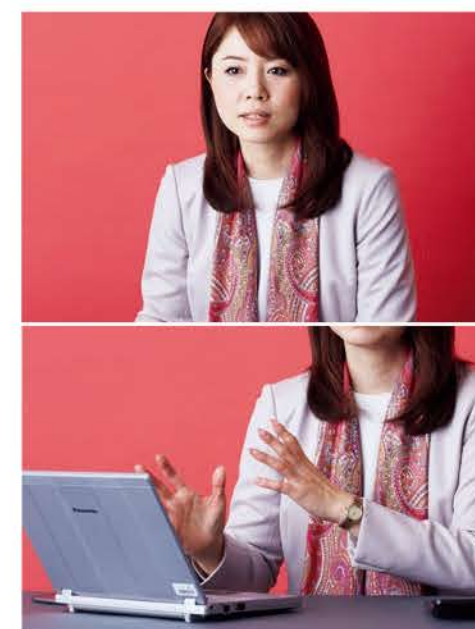


子供が所属するサッカークラブチームの代表を引き受けました。新たな役割を担い、出会いを重ねて、仕事とは全く異なるフィールドで活動しています。また、慌ただしい毎日の中で忘れがちな、美容と健康を意識した生活を送るよう心掛けています。

金融監査のプロが、スタッフのうちに金融監査に関わることを推奨する理由

「金融監査って何ですか?」という質問はよく受けますが、「将来専門的に取り組むかどうかは別にして、スタッフのうちに1社は金融機関の監査に携わったほうがいい」と答えます。銀行など金融機関の会計監査には「自己査定」の検証というものがあります。これは、金融機関にとってメイン業務である「融資」から生じる貸付金など、保有する主要な資産を自ら個別に検討し、回収の危険性又は価値毀損の危険性の度合に従って区分することなのですが、監査人はその自己査定が適切に行われているかをチェックします。金融機関にとって一番重要な資産である貸付金の評価の適切性を検証するため、いわば外部の目による健康診断のようなものですね。金融機関の財務諸表を見ると、貸付金の評価の重要性が分かるはずですが、通常の会計監査に加えて、別業務となる自己査定の検証ですが、これが会計士としてとても勉強になります。様々な規模の業種業態の貸付先を見ることで、その会社に会計監査に行かなくても、数字から健康状態が分かるので、貸付先の自己査定資料をレビューするだけでも見識がグッと広がります。そして、一般企業の監査に戻ったときに、自己査定の考え方や発想がものすごく役に立つのです。私が大手監査法人にいた時は、ある大手都市銀行の監査チームに所属していましたが、かなりの大人数でチームを作って監査を行っていました。私を含めてみな大人数の中での一人という存在でしたので、任された分野や勘定科目への理解、専門的知識は非常に深くなる一方、金融機関や金融機関監査そのものの全体像を把握するのは時間がかかることでもありました。

太陽では、クライアントの規模はさまざまですが、年次が若いうちから監査業務の一通りを経験する機会に溢れているため、全体感をつかむことができます。主査としていくつものチームをまとめる中で連帯感や責任感を感じる仕事ができることで、経験が蓄積していくことにつながります。太陽では、自ら何かをつかみ取って自分で考えて進めていきたい人、好奇心が強い人が活躍できます。



資格を持っている強みを活かして、女性が長く仕事ができる環境があります

私は2人の子供を育てていて、下の子供が小学校に入った段階で、太陽でリスタートすることができました。現在子育てに奮闘している女性を見ると、産休や育休に加えて、時短勤務も上手に活用しています。40ページからの女性対談に出席されている島根聡美さんはスーパーバイザーですが、今は育休明けで、監査チームのスタッフとして下支えされていて、彼女のように自分の状況に応じてスローダウンできたり、女性が柔軟に働きやすい環境が太陽にはありますね。今、私が注力しているのは、仕事に加えて、人を育てることです。自分が若かったときに私を育ててくれた先輩たちへの恩返しの意味も含めて、若い年次のスタッフの人財育成には力を入れています。監査チーム内でも、自分で考えて答えを出せるように意識して指導しています。私が「会計士として大切にしているもの」は、自分の生き方にも関わってきますが、適当なことはせず、「真摯に取り組む」こと。クライアントと太陽の「信頼を裏切らない」ことは、普段から積み上げたものを裏切らないことにも通じます。そして、私たちが相手にしているのはPCではなく人。最後のジャッジは人対人ですから、相手の立場を尊重し、「楽しくコミュニケーション」する中で、最後には適切な回答へ持っていけるよう意識しています。



アドバイザー

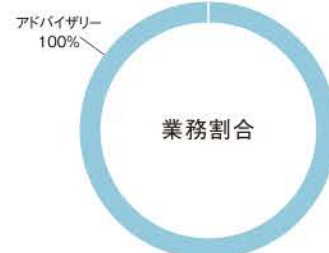


宇佐 新太郎

Shintaro. Usa

2012年入所 東京事務所 マネジャー

「アドバイザー業務の醍醐味は、クライアントのためにという使命感と達成感です」と言うのは、「腰を据えてアドバイザーの仕事をしたい」と、太陽グラントソントン・アドバイザーズ株式会社に向かう中の宇佐新太郎さん。会計監査との違いを尋ねると、「アドバイザーは2〜3週間の案件から、半年ほどの案件まで実に様々なオファーがあり、監査と比較して期間が短い。そのため、特にゴールを見据えたタイムマネジメントに高いスキルが求められますが、案件のコントロールという点で大きくスキルアップが図れるので、やりがいは大いにあります」とのこと。



現在は担当業務の100%がアドバイザー。アドバイザー業務（コンサルティング）は業務の幅も拡大しており、監査を経験した会計士が活躍できるフィールドは広がっている。

週末は家族でリフレッシュ



休日にはなるべく家族と一緒に過ごすようにしています。子供が2人いるので、近所の公園で遊ぶことが多いですね。家族と過ごす時間が仕事への活力を与えてくれるので、プライベートの時間はしっかり確保し、仕事とプライベートのメリハリをつけることを心掛けています。



アドバイザーの魅力・会計士のニーズ

アドバイザー業務の魅力は、クライアントとの距離感が近いことですね。クライアント自身もどうしたいのかがはっきりとは固まっていないような、内容がまだ柔らかいタイミングでクライアントからの依頼がくることもあります。そのような場合にクライアントと一緒に検討を進めるプロセスは、その全てが自分の財産になるし、達成感もあり、やりがいを感じる面白いポジションだと思います。

また、監査は会計基準に従っているかを保証するものですが、その前段階の「例えば会計基準に従って作成するにはどのようにすれば良いか」についてアドバイスを求められる会計相談という業務もあります。特に近年ではIFRSへの移行のニーズは増加しており、そのような業務に関しては監査の経験を活かせる部分が多く、監査を経験した会計士に対するニーズは高いと感じますね。このようにアドバイザーにも監査業務の目線である「何が合理的で、どう考えるべきか」という点について求められる部分は多く、監査業務との親和性は高いと思います。

大切にしてきたことは「まずやってみる」

太陽は、法人の特色としていろんなことが早い年次からできる企業風土があります。そのため、好奇心が強い人はもちろん、やりたいことを明確に絞れていない人も太陽でいろんな世界を見て、スピード感をもって戦うフィールドを決めていくことができます。これは皆様の前に大きく広がる可能性のなかで、今後の公認会計士としてのキャリア形成という点において、非常に魅力的な部分だと考えています。

私は会計士試験合格後、監査業務の傍らアドバイザー業務も経験し、現在はアドバイザー業務のみに注力しています。その中で大切にしてきたことは「まずやってみる」というチャレンジ精神です。たとえ間違っただとしても修正をすればよいだけで、重要なのは最初の第1歩をまず踏み出すことだと考えています。

受験生の皆様もいろんなことにチャレンジできる太陽で会計士としての第1歩を踏み出してみませんか？皆様と一緒にお仕事できることを楽しみにしています。



クライアントのニーズをとらえた価値を提供するのがアドバイザーの仕事

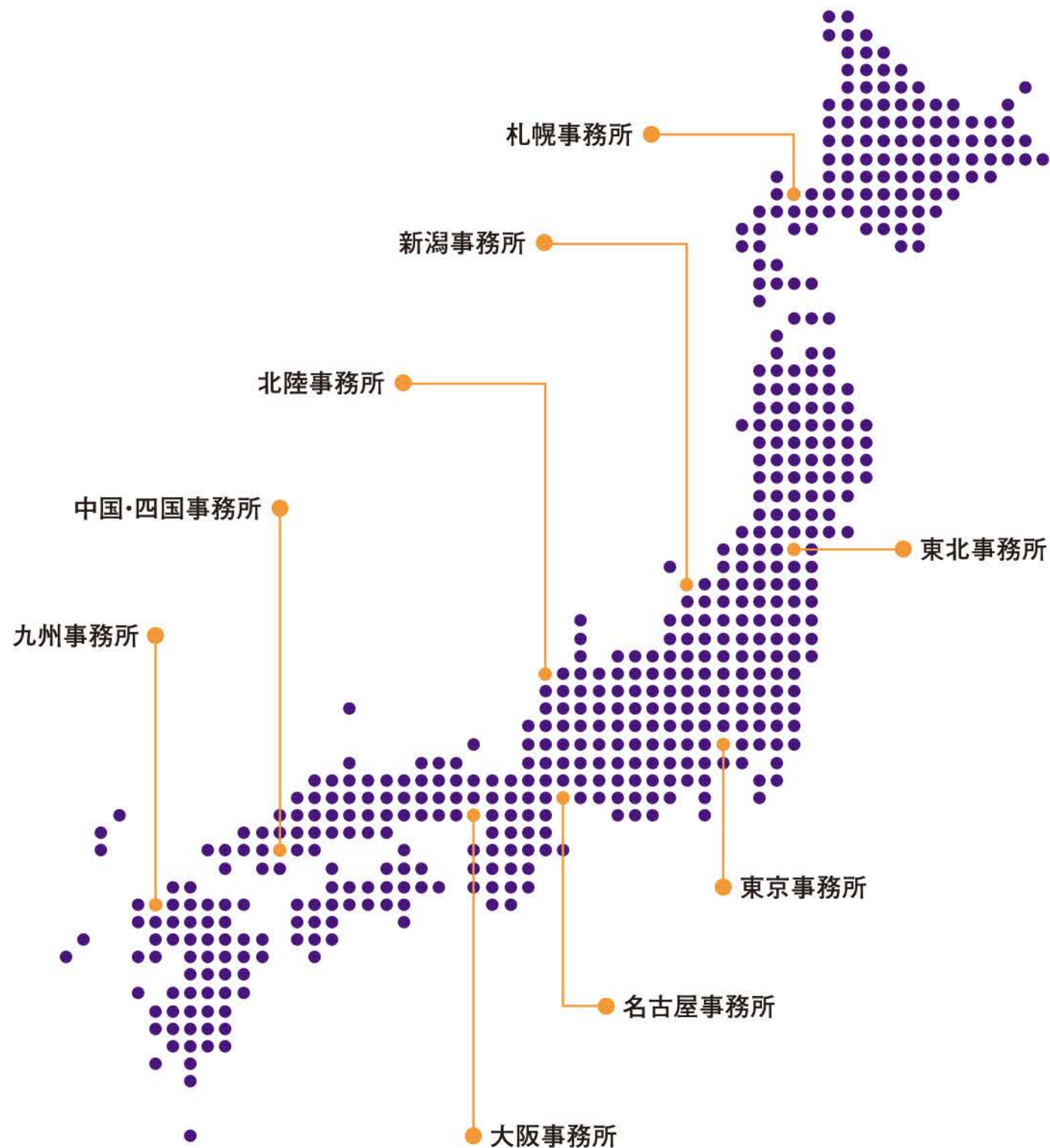
「アドバイザーは何をするんですか？」と訊かれたら、例えば報告書を提出する、何かクライアントが考えるきっかけを提供する、プロジェクトの進行をフォローするなど様々あると思いますが、結果として「アドバイザーを入れて良かった」と思っていたけような価値を提供することがアドバイザーの仕事だと思います。そのため業務の領域は、クライアントの役に立つことという意味でかなり広いです。

私はM&Aに係る財務デューデリジェンス、バリュエーションを担当していますが、日本におけるM&Aは、業界内の国際競争の激化等を背景にした業界内再編や、中小企業の経営者の高齢化に伴う後継者問題の解決策として近年増加しています。また最近では、チャレンジ精神がある若き起業家の出口（EXIT）戦略としても注目されています。そのようなクライアントの成長戦略のターニングポイントにおいて、どのようなアドバイスが価値の提供になるかという点はいつも考えるようにしています。ここでいう価値の提供においてはクライアントのことを第一に考えることが重要です。仮にクライアントが強く進めているような案件であっても、それがクライアントのためにならないと考えられる場合には、時にアドバイザーとしてNoを提言することも必要な姿勢と考えています。そのため、そのような提言をするためにもしっかりと事実や根拠に基づいて考えることがとても重要です。また、アドバイザーの仕事は相手に的確に伝えることが重要なので、「アウトプット」についてはしっかりと相手に刺さるように表現するように気を付けています。

Japan Office ～拠点情報～

全国で活躍できるステージ

Grant ThorntonのJapan Officeである太陽監査法人は全国の各主要都市に拠点を構え、北海道～沖縄まで日本全国を対象として各種サービスを提供しています。各拠点間での人材の交流も行われており、IターンやUターンといった個々のニーズやライフステージに合わせた働き方が可能です。ここでは、各拠点についての特徴等を紹介していきます。



話題のAR動画で、東京事務所をご紹介

1 まずは「COCOAR2」アプリのインストール



「Apple Store」もしくは「Google Play」で「COCOAR2」と検索し、無料インストールしてください。
または、左側のQRコードを読み込み、「COCOAR2」アプリを無料インストールしてください。

2 「COCOAR2」を起動してかざす

「COCOAR2」アプリを起動し、指定画像にかざしてスキャンしてください。



本部・東京事務所

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-2-7 赤坂Kタワー22階
TEL:03-5474-0113 FAX:03-5474-0114

大阪事務所

〒530-0015 大阪府大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階
TEL:06-6373-3030 FAX:06-6373-3303

札幌事務所

〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西4-2-2 札幌ノースプラザ7階
TEL:011-596-9351 FAX:011-596-9352

東北事務所

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央2-2-1 仙台三菱ビル4階
TEL:022-797-2471 FAX:022-797-2472

新潟事務所

〒950-0087 新潟県新潟市中央区東大通2-1-18 だいし海上ビル5階
TEL:025-290-7081 FAX:025-290-7082

北陸事務所

〒920-0031 石川県金沢市広岡1-1-18 伊藤忠金沢ビル6階
TEL:076-231-3270 FAX:076-263-9181

名古屋事務所

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-6-23 第三堀内ビル5階
TEL:052-569-5605 FAX:052-569-5606

中国・四国事務所

〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀14-4 JEI広島八丁堀ビル6階
TEL:082-511-2671 FAX:082-511-2672

九州事務所

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神2-14-2 福岡証券ビル5階
TEL:092-718-3071 FAX:092-718-3070

大阪事務所

チーム間のみならず、組織全体とともに成長できる事務所

大阪事務所では、30代のパートナーも所属するなど若手が多く個人の成長意欲に応える環境が整っています。先輩上司から監査に必要なコミュニケーションや事前準備等を学び、ともに成長し歩んでいきましょう。

特長1—様々な業務に関与できる

グループ制を導入し、横割りの組織体制。
上場、会社法、IPO、パブリック等同時に多様な業務の経験を積むことができ個人の成長意欲に応えます。

組織体制

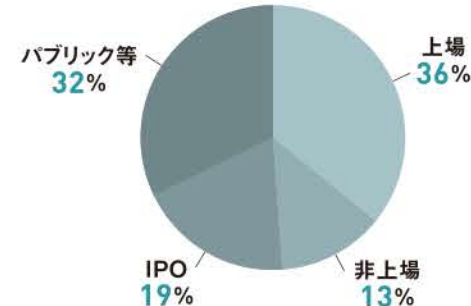
大阪事務所は2グループにわかれており、1グループ60名程度の体制で運営しています。



クライアント数 2020年3月31日現在

金融商品取引法・会社法監査	53社
会社法監査	18社
IPO	29社
パブリック(学校、社福、医療法人)	28社
その他	15社
合計	143社

クライアント割合



風谷 基匡
Motomasa, Kazetani
4年目 シニアスタッフ



大きすぎない規模感でありながら多様な業務で様々な経験を有することができることが大阪事務所の魅力の一つだと思います。



中谷 晃久
Akibisa, Nakatani
3年目 スタッフ



丁度いい規模感なので、職員同士の横のつながりが活発に感じます。部活動も活発になり公私ともに仲が良い職場です。

採用情報

より深く大阪事務所を皆さんに知ってもらえるよう、マイページを開拓しています。詳細情報はQRコードからご確認ください。



お問合せ先 TEL 06-6373-3030 FAX 06-6373-3303 E-mail saio_osa@gtjapan.or.jp

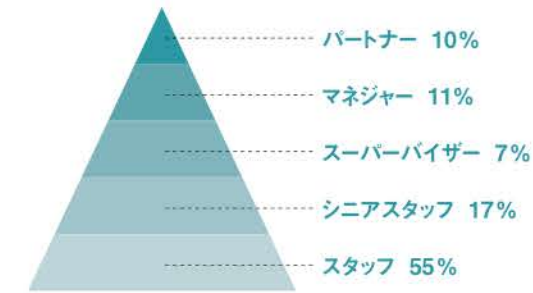
特長2—魅力的な職場環境

コンパクトな職員数で仕事のしやすい距離感。
上司に限らず、不明点があれば職員間ですぐに確認できる風通しのよい職場環境です。
また年々、女性割合も高くなってきており、女性にとっても働きやすい環境です。

人員数



職階別



男女比率



鄭 佳馨
Yoshika, Tei
1年目 スタッフ



女性の上司と仕事をする機会があり、入所1年目から自分の将来のビジョンを想像しながら働くことができています。



山田 葉瑠香
Haruka, Yamada
1年目 スタッフ



入所1年目からIPO業務など様々な経験を積み重ねていくうえで不安なこともありますが、気軽に先輩に相談できているので、自身の成長に繋がっていると感じています。

部活動・レクリエーション

業務以外の時間でもゴルフ部、野球部、英語教室等共通の趣味を通じて職員間のコミュニケーション活性化を図ることを推進しています。



地方創生を担う、7つの地区事務所

監査業務を通じて地域の経済発展に貢献する7つの地区事務所。 エリアごとに独自の良さを発揮し、仕事の充実度と暮らしやすさも魅力。

働き盛りの30歳前後の職員が口を揃えて言うのは、「中小企業の監査業務を中心に、IPO業務やアドバイザー業務まで、若い年次のうちからさまざまな業種に関わることができ、会計士としての成長が早い」ということ。
北は札幌から南は九州までの7つの事務所は、ミッドサイズファームならではの小回りの利くサービスで、各地域の経済圏に根ざした活動を行っています。

札幌事務所



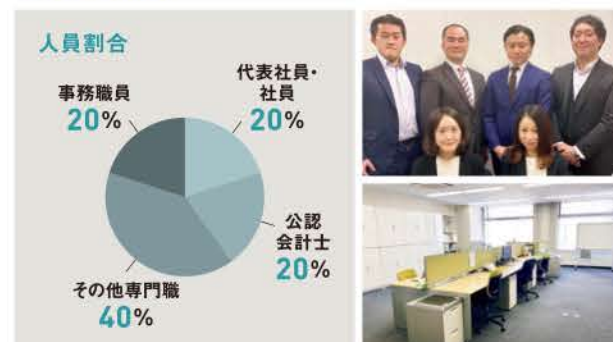
札幌事務所は、大通駅から徒歩3分、地下歩行空間と直結した商業圏に位置するため、仕事のみならずプライベートの充実にも適した立地です。通勤時間は30分以内と短いことから、業務後の時間を自己研鑽や趣味等、様々なことに利用できます。また、職員は20代、30代、40代とバランス良く構成され、若手も働きやすい環境です。上場企業の監査やIPO業務を通じて広く専門性を身に付けつつ、有意義な時間を共に過ごしましょう。

東北事務所



私たちの東北事務所は杜の都仙台に位置し、11名のメンバーが所属しています。人員構成は男性7名、女性4名であり、少人数ではありますが、風通しの良いことと、個性や能力に合わせ、幅広い業務にチャレンジができ、着実に成長していけることが強みです。東北出身のメンバーもそうでないメンバーも皆、東北の経済を元気にしたいという共通のモチベーションを持っており、明るく笑顔の絶えない事務所です。

新潟事務所



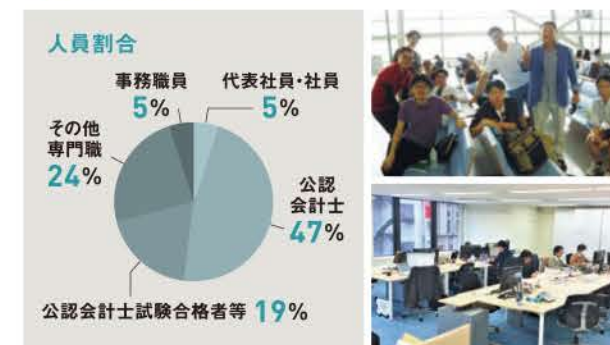
新潟駅万代口前にオフィスを構えています。新潟市内のほか、製造業が盛んな燕三条・長岡エリアをカバー。さらに東京とのアクセスの良さから、東京事務所とも緊密に連携を取っていますので、希望があれば東京への定期的な出張や異動も可能です。上場企業の監査のほか、上場準備会社へのコンサルティングや自治体監査の業務など、年次・年齢問わず幅広く業務経験をすることができます。メンバーの多くが30代と若い組織で、毎日元気に仕事をしています！入所間もない時期から幅広い経験をして早く成長をしたい方、地場ならではの大規模工場を持つ製造業をしっかり経験したい方、お待ちしております！

北陸事務所



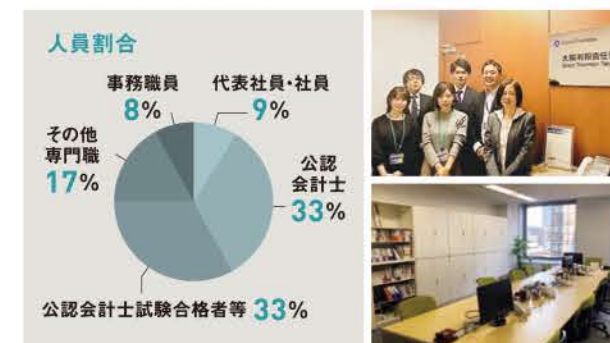
北陸事務所は、金沢、富山、福井の3拠点からなり、各拠点相互に連携して運営しています。常勤職員29名、様々なバックグラウンドを持った仲間が働いており、個人の考えを尊重しつつも、年齢や職階の垣根なく、自由に意見交換できる風土であるため、様々な気づきや学びが得られます。また、仕事と子育てを両立しているメンバーもあり、女性の方も安心して働ける環境です。

名古屋事務所



名古屋駅徒歩2分の立地にある事務所。メンバーの男女比は7:3で、男女ともに育児休暇取得実績があり、あなたらしく働ける環境を大切にしています。和やかな雰囲気の中にも仕事のうえではプロとしての緊張感があり、一人ひとりの意見や個性を尊重する事務所です。
個性豊かなメンバーが集い、また年次・年齢に関係なく監査・IPO・パブリック・アドバイザーなど様々な業務に挑戦できるやる気とやりがいにあふれ、個人の成長機会が多い環境下で、あなたにとってのベストを探してみてもいいかもしれません。

中国・四国事務所



中国・四国事務所は2015年に開設され、所長以下広島中心部の事務所を拠点に中国地方と四国地方の広範囲なエリアを12名でカバーしています。一人一人が誰からも信頼される会計士を目指し、業務の中で得た経験や知識を共有しながら、日々切磋琢磨しています。また、コミュニケーションを大事にしており、職階を超えたアットホームな雰囲気です。様々な業種の上場企業の監査、IPO、パブリック、コンサルティングと幅広い業務に関わっており、少数だからこそメンバー全員が様々な業務に携わるチャンスに恵まれている事務所となっています。

九州事務所

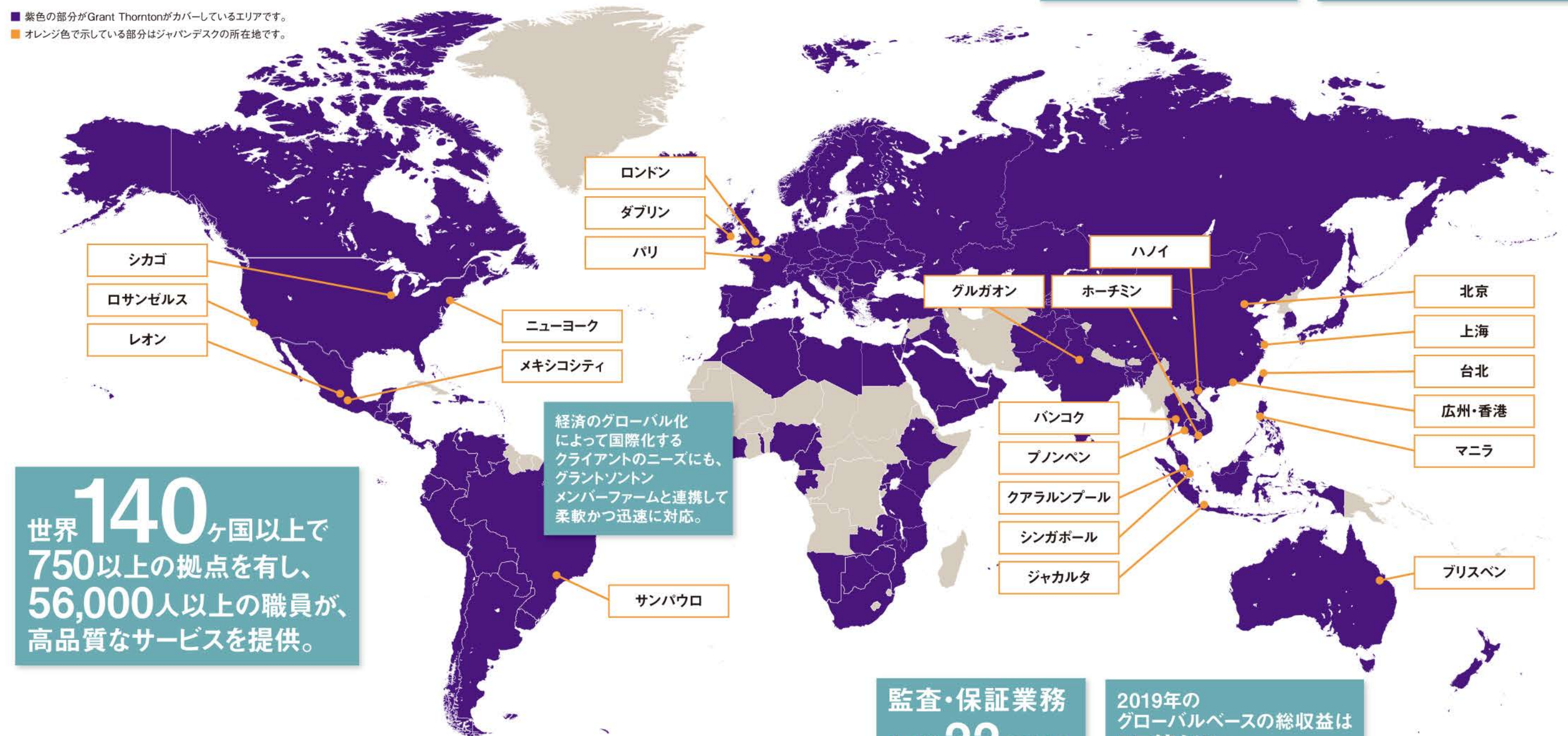


福岡では、幅広い見識を持つベテラン勢により業務を行っております。そのため、OJTを柔軟に行えることから、公認会計士としてのキャリアスタートには最適です。仕事は、九州圏内を中心に、法定監査業務に限らず、IPO業務も盛んに行っており、自分次第で大きな成長が望めます。生活面では、街自体がコンパクトですので、交通の便もよく、食事もおいしいことから、生活環境としても快適。私達と共に福岡で成長していきましょう。

グラントソントンインターナショナル (GTIL)

世界140カ国以上にネットワークをもつ、国際会計事務所のグループです。グラントソントンインターナショナル (GTIL) のメンバーファームは、それぞれが独立して経営されていますが、GTILの世界戦略に基づき、相互に密接な関係を維持し、高品質で均一なサービスを提供しています。売上規模では、4大会計事務所グループの次に位置しており、ここ数年間では、国際的な同業グループの中で最も高い成長率を記録しています。顧客は、世界規模の大企業から比較的小規模なオーナー企業までの広い範囲に及びます。特に中堅オーナー企業との関係は古くから長く続いており、顧客の要望に合った品質の高いサービスを提供しています。

■ 紫色の部分がGrant Thorntonがカバーしているエリアです。
■ オレンジ色で示している部分はジャパンデスクの所在地です。



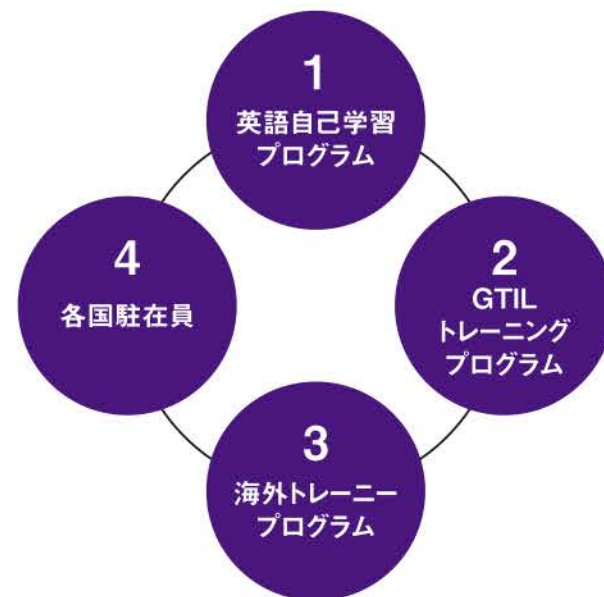
「ジャパンデスク」(17カ国・23拠点)

日本企業の海外事業展開を支援するため、世界主要都市に、日本人駐在員または日本語対応可能なプロフェッショナルが常駐し、高品質かつきめ細やかなサービスを提供しています。この各国ジャパンデスクと太陽監査法人は「ひとつのファーム」としてボーダーレスにクライアントをサポートしています。

世界に通用する人財となるための支援制度

充実した語学研修を用意し、受講者の飛躍を後押しする。

太陽監査法人には、海外で個人のスキルを最大限に発揮できるように、4つに分かれた研修支援制度があります。



1 英語自己学習プログラム

全ての社員・職員を対象に以下のプログラムを提供しています。

- ビジネスEメール
- もう一度英語(ビジネス編)
- TOEIC対策コース

TOEICで一定以上の点を獲得した社員・職員は、Online英会話レッスンが受講可能となります。なお、TOEIC受験の費用は法人より補助が出ます。

3 海外トレニープログラム

対象者:(一定条件を満たす)
スタッフ・シニアスタッフ・スーパーバイザーまで
期間:(原則)6カ月間×2回

業務を通じて活きた語学力を身に付け、関与先のグローバル化、クロスボーダー取引の増加に対応するとともに、英語で議論のできる人財を育成する事を目的としています。

2 GTILトレーニングプログラム

- 主な研修
 - ・Senior Leadership Program
 - ・Emerging Leaders Conference
 - ・Advanced Manager Program
 - ・IFRS Training
 - ・PCAOB Training
 - ・ISA Training

グラントソントンインターナショナルの研修プログラムに定期的に派遣しています。この研修は、グローバルレベルの交流、ビジネスやIFRS、監査品質水準など、様々な目的のために、各国の提携事務所の職員が特定の都市に集合して実施したり、オンライン上で実施する研修です。

4 各国駐在員

前項で掲載しているジャパンデスクのある特定のエリアへ駐在員を派遣しています。ボーダーレスにクライアントサービスを提供できる人財を育成していくことを目的としています。

GTネットワークを活かした成長・国際交流

GTILの研修プログラムを活用した、グローバルリーダーシップ人財への成長。

太陽監査法人では、グラントソントンインターナショナルで行われる研修プログラムを利用し、国際的なビジネスネットワーク、コミュニケーション能力を成長させる機会を提供しています。

GTIL Leadership Journey



プログラム参加者からの感想

花輪 大資

Daisuke Hanawa
名古屋事務所 マネジャー
14年目



フィリピンのマニラで開催されたELPでは、各国参加者とチームを組み、具体的なビジネスシーンを設定したロールプレイを実施しました。3日間の英語漬けのチームディスカッションを通じ、国籍・価値観の異なる海外メンバーとの交流を深めることができました。英語力もさることながら、相手国の文化や特徴を理解した上で、言語を超えたコミュニケーション能力を発揮することが、国際的協同のためには必要となると感じました。

井上 広志

Hiroshi Inoue
東京事務所 シニアマネジャー
13年目



ALPの目的は、参加者それぞれが考えるリーダーシップ像、GTの課題や、目指すべき方向性など、多様なテーマでのディスカッションを通じて、各国のメンバーファームの同士と交流を深めるとともに、国際的なビジネス環境下で今後自身がより一層活躍していくための土台作りにあります。研修期間中は日中はディスカッション、夜は交流会と過密スケジュールが5日間続きますので、終わったときには毎回ヘトヘトになります(しかもこれを3回やります...)。しかし、こんな高密度な国際研修の場を提供しているのはGTくらいでは、と思います。他では滅多に経験できない、貴重な体験が可能です!

GTメンバーファームからの日本派遣メンバーとの国際交流

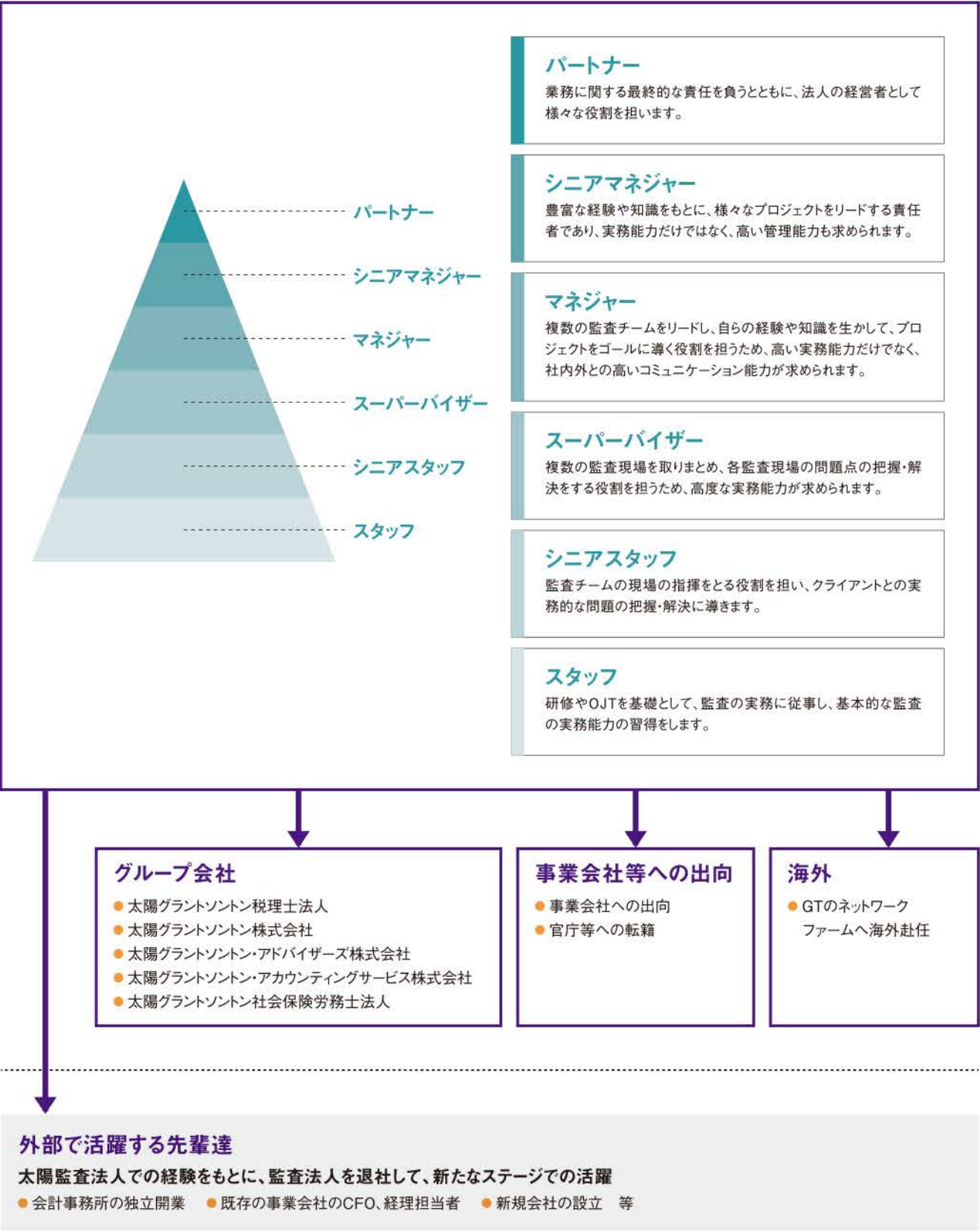
太陽監査法人をはじめとする太陽グラントソントングループでは、グラントソントンメンバーファームからの派遣メンバーの受入れも積極的に行っています。大阪事務所には2019年10月よりホアン・ティ・リエンさんが、東京事務所には2020年1月よりハロルド・ヤングさんが赴任し、国際監査業務を中心に従事しています。各事務所では、職員との英会話/日本語会話の相互レッスンを実施するなどの交流も活発に行っています。



様々なキャリアプラン

独自のキャリア形成で広がる選択肢

太陽監査法人では多様な業務を通じて、ビジネスパーソンとして一人ひとりが独自のキャリアを形成することができます。

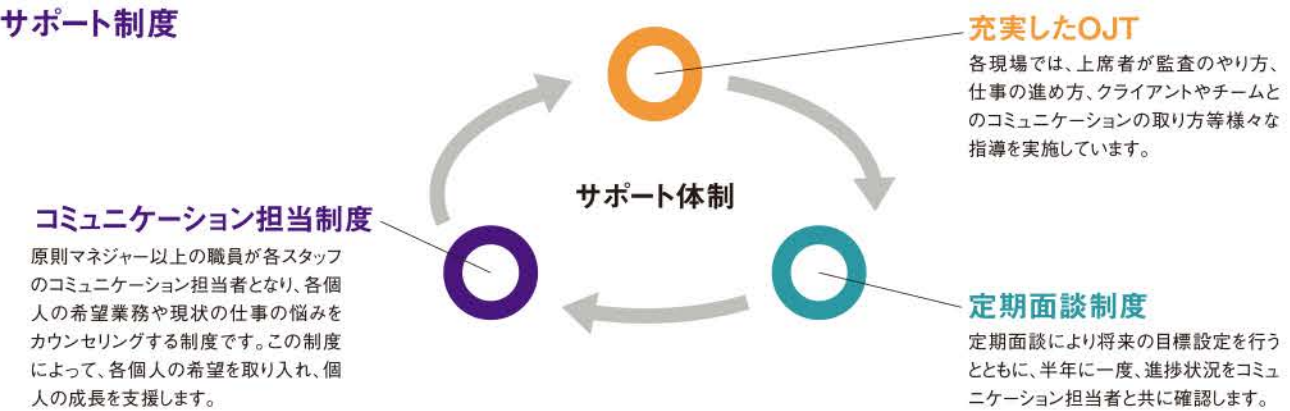


キャリアアップサポート

他にはいないプロフェッショナルな会計士を育てるためのサポート体制

太陽監査法人は、職員のプロフェッショナルリズムを追求することにより、卓越したクオリティの確立を目指しており、個々人が成長するためのサポート体制を最も重要なものとして位置づけています。そのため、職員に対して充実した研修制度やサポート制度を提供しています。

サポート制度



プロフェッショナルになるための研修制度

グローバルなプロフェッショナル人財の育成をスローガンとし、各職階に応じて充実した研修プログラムを用意しています。各研修プログラムにおいては、ディスカッションやケーススタディ等のアクティブラーニングを積極的に取り入れており、単なるインプットにとどまらない「知識の定着」を図れるようなプログラムとしています。特に、入所初年度は、多くの研修プログラムを用意しており、監査実務にスムーズに入れるように、複数のタイミングに分けて実施しています。

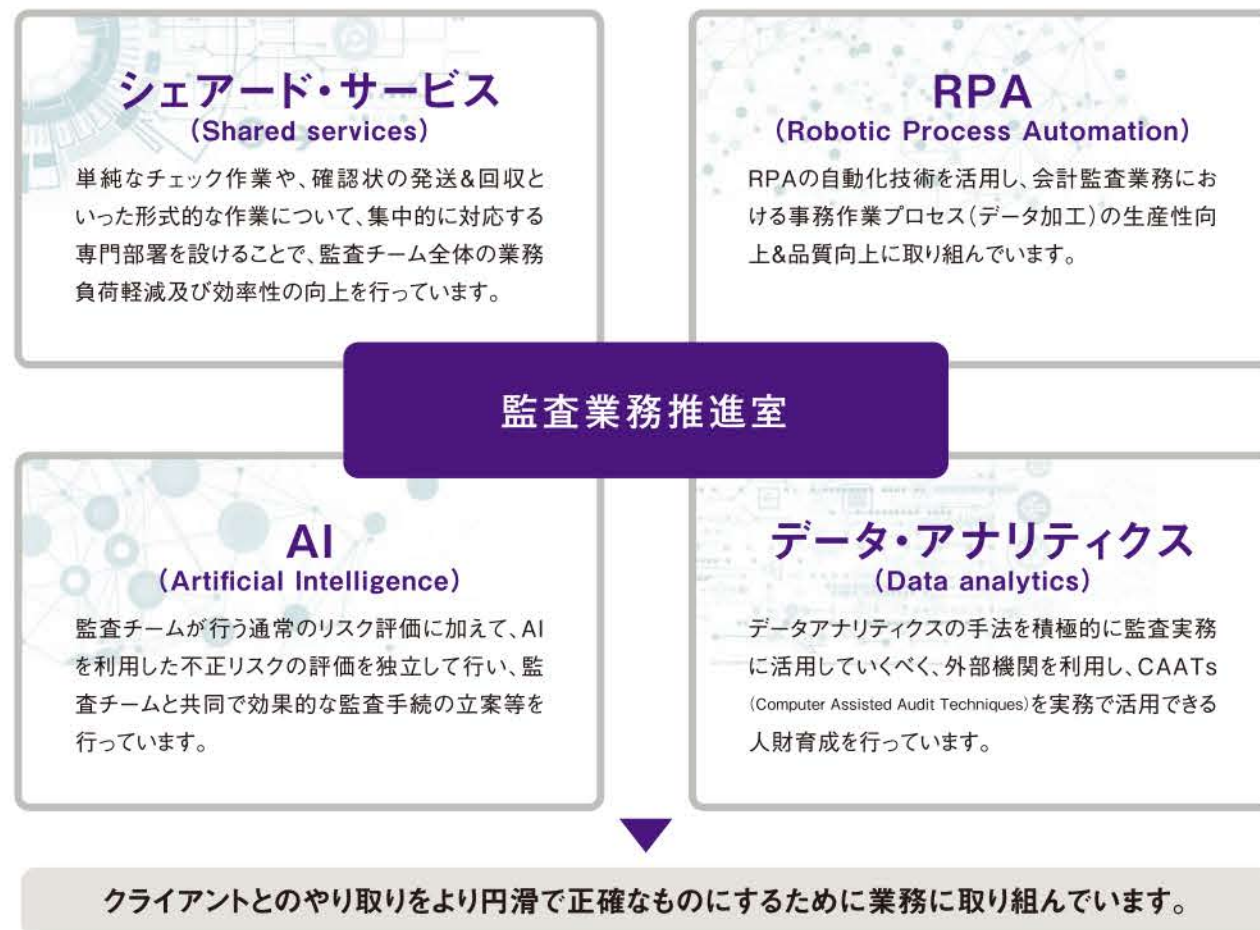
		スタッフ	シニアスタッフ	スーパーバイザー	シニアマネジャー マネジャー	パートナー
ビジネススキル 人的スキル	ビジネススキル ベーシック研修	・PCスキル ・ビジネスマナー ・タスクマネジメント ・ロジカルシンキング ・アサーティブ コミュニケーション ・フォローシップ	ビジネススキル アドバンスト研修I	・プレゼンテーション ・ネゴシエーション ・リーダーシップ	ビジネススキル アドバンスト研修II	・コーチング ・マネジメント
	パートナー研修					
会計スキル 監査スキル	監査手法研修	・サンプリング ・監査ツール利用技法	・IPO監査	・Data&Analytics ・AUP ・コンフォートレーター ・TS業務		
	継続研修	・会計基準研修 ・IT監査研修	・監査実務研修 ・税務研修	・職業倫理研修 ・内部統制	・IFRS研修 ・不正事例	・専門領域研修(金融・国際・パブリックetc)
グローバル コミュニケーション		・海外短期語学研修 ・Online英会話レッスン	・英語自己学習プログラム(e-Learning含む) ・海外トレーニングプログラム	・TOEIC受験補助 ・GTILTトレーニングプログラム		

業務効率化への取り組み

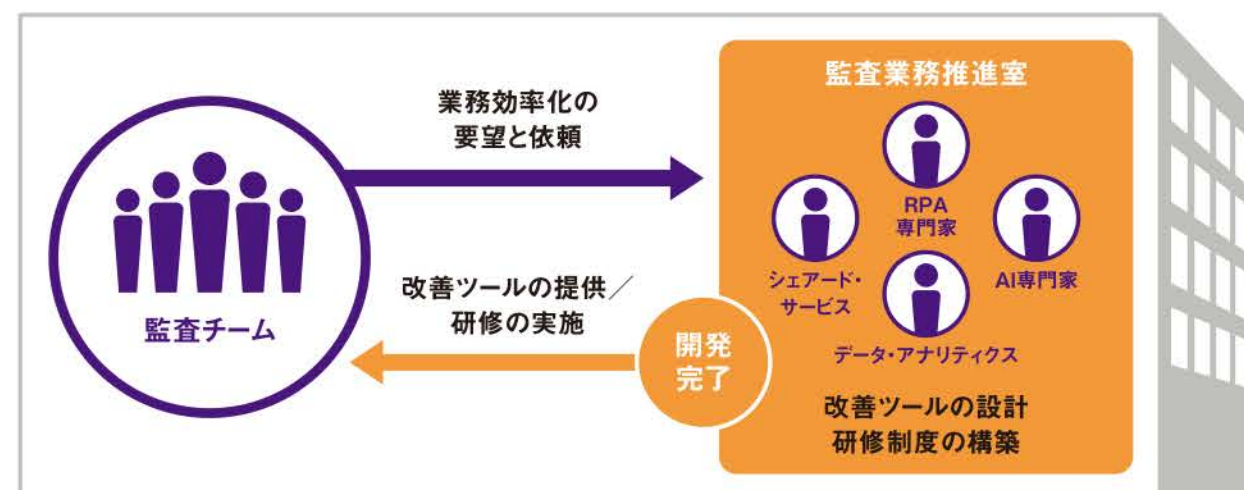
効率化で監査の品質が向上する

昨今では少子高齢化や長時間労働を背景に「働き方改革」、「生産性向上」といった言葉が定着し、大企業を中心に業務の効率化や働き方の多様化に向けた取り組みが行われています。この環境の下で、太陽監査法人では、個々の監査チームが限られた監査資源の中で最大限のパフォーマンスを発揮できるよう、監査業務推進室を中心に監査業務の効率化・生産性向上に向けた様々な取り組みを行っています。

業務内容



常に進化し続ける業務の効率化



業務効率化の具体的な施策

監査業務推進室は、AIなどを活用して、品質の向上と業務の効率化に取り組み、監査チームをサポート、働き方改革と組み合わせ、今後の働き方にマッチするような施策も考えています。品質管理部、人事研修部、経営企画部を繋ぐ要に位置する太陽監査法人独自の部門です。具体的にはどのような考えのもと業務に取り組んでいるのか、責任者に聞いてみました。

高橋 康之
Yasuyuki Takahashi
2007年入所
東京事務所 パートナー



Q 監査の未来は、どう変わっていきますか？



A
医療現場では、医師や看護師など分業が当たり前ですが、監査現場では会計士がデータ加工や残高確認発送などの作業もやっていて分業が遅れていました。そんな状況を改善するため、ロボやデータ分析の手法を活用し、会計士には専門性の高い仕事だけに専念してもらうのが、監査業務推進室の役割です。太陽では、データアナリティクスとAI、そしてRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)の3つに力を入れており、在宅勤務やテレワークなど、人や場所にとられないいろいろな働き方を推進していきます。監査業務推進室のメンバーの多くは監査部門と兼任であり、太陽のミッドサイズの規模を活かして、AI活用や効率的な業務の進め方までさまざまなアイデアや手法を出しあいます。

Q 公認会計士は必要なくなる仕事ですか？



A
雑誌やインターネットなどで、将来なくなる仕事として会計士も挙げられていますが、なくなるのは単純作業の部分で、監査判断やコミュニケーションが必須の会計士の仕事はなくなりません。私たちの根幹の監査業務は、経営者とコミュニケーションをとり、投資家に対して何を伝えるか指導していくもの。会計士の専門知識と経験が必要なので絶対なくなりません。監査業務推進室では、監査チームのサポート役として、会計士を単純作業から解放して、経営者とのコミュニケーションや慎重な判断が必要な領域に資源を注力してもらい、AIなどを活用して、リスクを抑えることと業務を効率化すること、その両方に取り組んでいきます。

Q RPAで自動化している業務を教えてください。



A
「RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)」とは、事業プロセス自動化技術の一種で、ソフトウェアロボットまたは仮想知的労働者と呼ばれる概念に基づいています。監査法人のRPAの自動化では、監査する会社が保有している株の株価チェック(決算期末日時点)ができるようになり、試算表への転記もボタン一つで可能になりました。さらに、確認状の送付先の住所を事前に確認する作業にも役立っています。今後も単純作業をなるべくRPAにより代替させ、会計士がより判断やコミュニケーションの部分に時間を割けるよう、積極的に導入を進めていきます。加えて、監査の直接業務のみならず、間接業務にもRPAを導入し、監査法人全体の業務効率化にも取り組んでいく予定です。

Q データ・アナリティクスとは何ですか？



A
従来の大企業の監査は、膨大なデータの中からサンプルを抽出した監査でしたが、「データ・アナリティクス」は全データを投入して、その中で不自然な関係性を定義・分析することができます。トータルな監査プロセスの中にデータ・アナリティクスという統計的な手法を統合することで、数値をもとに素早い意思決定を行うことができるようになります。さらなる付加価値がもたらされます。円滑な監査業務の推進とリスクヘッジの一環として欠くことのできないデータ・アナリティクスは、太陽が業務推進として一番力を入れているもので、「仮説に基づく検証手続を実施できる技能」を身につける「データ・アナリティクス・スペシャリスト」の育成にも取り組んでいます。

Symposium 02 女性座談会



高 彩加

Sayaka.Ko

2015年入所
シニアスタッフ

竹内 和夏

Nodoka.Takeuchi

2018年入所
スタッフ

井上 瑠菜

Runa.Inoue

2019年入所
スタッフ

島根 聡美

Satomi.Shimane

2008年入所
スーパーバイザー

先駆的な先輩と、若き次代の担い手たち

例年、会計士試験の合格者は1,000人を超えていますが、
女性は全体の2割ほどです。そんな男性が多い会計士業界でも
太陽の女性は生き生きと働いています。
さて、登場する4人の「仕事と人生のステージ」はいかに。



◎女性から見た 会計士という職業と太陽の魅力

井上 私が入所を決めた理由はミッドサイズな太陽だからこそできる働き方があると思ったからです。また、法人説明会でも、やりがいを持って楽しく仕事をしている人が多いなと感じましたし、一緒に働くことができれば自分がより成長できると思いました。

高 井上さんはどうして会計士を目指したのですか。

井上 資格を取れば結婚・出産などのライフイベントを迎えても一生働けますし、女性が働きやすい仕事というのが大きいですね。またコンサルティング業務をしたいというのも会計士を目指した理由の一つです。太陽はミッドサイズで、大手ではできないポジションでさまざまな仕事ができるので、自分がなりたい会計士像になれると思いました。

竹内 確かに、井上さんの言うように、資格を取れば一生働けますし、資格は人生の保険にも武器にもなると感じています。会計士という資格を手にする事は、わかりやすい自分のステータスになると思いました。また、出産や育児後も監査法人に戻ってくることができずし、不安なく働ける職業だと思っています。太陽はそう考えている自分にとって「挑戦したいときに守ってくれる家」のような存在でもあります。

高 会計士は繁忙期と繁忙期ではない時のメリハリがあって、定時での帰宅や、有給の取れやすさから、「自分のクオリティ・オブ・ライフ」を上げやすいと聞いていましたが、働いてみて実際そうでした。太陽は女性にとって働きやすい環境だと思っています。

島根 会計士が専門職として携わる監査は、IT・AIの活用などによる監査の手法の変化、時代に応じた監査基準の改定などがありますが、基本的な考え方は大きく変わりませんから、長く、また結婚・出産しても変わらずに仕事ができると感じています。

◎仕事の楽しさ・難しさについて語り合う

島根 井上さんは入所したばかりですが、監査チームで働いてみていかがですか。

井上 会計士業界のパンフレットには必ず「男女平等」と書かれているので、男女格差はないだろうというイメージで仕事をしています。女性の主査の現場にも入りましたが、男性と変わりなく仕事をされているのでイメージ通りなのかなと感じます。

高 会計士として男女格差やアドバンテージなどはないです。どのクライアントに伺っても、一人の会計士として扱われます。現場では残業も男性と同じぐらいありますが、私は「女性だから残業しなくていいよ」とは

言われたくない。私に任せてという感じで働いています。

竹内 対クライアントという面では、高さんのおっしゃる通り、だと思います。仕事の面では、実際に私も「女性だから」と気にせずに平等に扱われていると感じますし、色んなことを任せてもらえると嬉しく思います。

島根 太陽の女性会計士は、バリバリ仕事をしているイメージがある(笑)と聞いたことがありますけど、いかがですか。

高 確かに、法人説明会で会うリクルーターは、「今日は、仕事をしてから説明会に来ました!」という現場でバリバリ働いている人が担当しているので、そう見えるのかもしれませんが。法人がミッドサイズなので、現場の実情が伝わってきて、熱く感じるのはそういう部分なのでしょう。太陽に入所する女性会計士は、仕事への熱意を強く持っている方が多く、仕事のやり方や仕事への考え方も似ていると感じます。なので、こうやって年次を越えても話しやすいのじゃないかな。

島根 女性も男性と同じように仕事ができるので、普段から密にコミュニケーションができると感じます。私が就活していた時のリクルーターは皆さんパートナーになっていますが、今でも事務所であうと、「どう?元氣?」と声をかけてくれて、本当に上と下の距離が近いです。太陽のそういうところが、産休や育休から復帰したときの安心材料の一つであり、戻ってきてちゃんと受け入れてもらえますね。

◎結婚・出産・育児について島根さんに学ぶ

高 今日、島根さんにお会いしたら、「既婚女性の働き方」のお話をぜひ聞きたいと思っていました。

島根 私の同期の女性3人が育児に奮闘中で、私は二人目の子供の産休から復帰したばかりです。修了審査合格後、学校法人やIPO(上場準備会社)の主査を経験し、担当するIPO会社が上場した時に一人目の子供の産休に入りました。産休に入るまでに一通りの仕事を経験しているので、復帰してから監査チームでスタッフをやってもアドバイスができるし、計画的にそうしたわけではないですが、今も不自由なく働いています。

竹内 お子さんは今、おいくつですか。

島根 3歳と1歳です。今は時短勤務で、2時間短縮して1日5時間、週5日出勤です。スーパーバイザーという職階なので、「主査をやってほしい」と言われますが、子供が小さいので今はまだ待ってほしいという要望をきいてもらって、スタッフワークをしています。

高 島根さんのお話を聞いて、主査を一通り経験すると作業の流れが分かるというのに、大きく同意しました。私も出産・育児をしても働きたいし、資格を活かして働けるのが会計士の強みです。一人前になれば



島根さんのように復帰しやすいし、この先のライフステージもいろんな仕事をして刺激をもらったほうが人生は楽しいなと思います。

竹内 島根さんの生き方はとても理想に感じます。そういった方が身近にいらっしゃって非常にお手本になりますね。私もこれからの人生をよく考えます。今は、主査を任せていただけるくらいの実力を十分につけて、現場をうまく回せるようになることが目先の目標ですが、将来は島根さんのように仕事と育児を上手に両立したいです。

井上 私が思い描いている生き方を島根さんが実行されていて、心強いです。リクルートイベントの時に、女性リクルーターから「結婚や出産が早くなっても、太陽はしっかり対応してくれる」と聞いていたので、私も復帰できる環境で、働き続けたいと思います。

島根 女性の中では、3～4年目で出産し、復帰して主査をやっている人もいます。女性の働き方の改革や地位向上には制度の充実も必要で、女性のライフステージは男性以上に様々ですから、長い目で見た制度設計にしていく必要があります。また、大事なのは、「制度が使えるのに、本人が使いたがらない雰囲気には絶対にしない」ということ。女性が長く働けるよう、きちんと整えていきたいと思います。

◎将来の仕事とライフステージを考えていますか？

高 私は3年目に1社の主査を担当し、主査業務を約2年行いましたが、まだまだ統括主査とパートナーに頼ることが多いので、クライアントから直接相談を受けたときなどは、自力で答えられるように経験を積み、主査業務を全うしたいです。太陽は監査チームの人数が少ないところ



が比較的多く、主査との距離が近いこともあって、2年目あたりから主査とともに基本計画作成などの主査業務を手伝っていました。太陽は若い年次からの主査業務は非常にやりやすい環境だと感じます。

竹内 私は、先ほども申し上げた通り、現在は主査を任せていただけるくらいの実力をつけることが第一の目標で、今は「来たもの拒まず」で仕事をしていきたいです。ですが、実は「誰かのために生きる」という生き方に憧れています。自分が一番尊敬する母親が「家族を支える」という生き方をしていたので、私も第2の人生として、旦那さんや子供のために生きたいという夢があります。その夢をかなえるためにも、今は、将来に悔いのないよう勉強し、仕事には真正面から向き合って頑張っていきたいと思います。もちろん、島根さんのお話を聞いたようにお子さんがいても働き続けるということができる業界なので、今、仕事や勉強を一生懸命するということは絶対に将来につながるものだと思っています。

高 竹内さんの夢、素晴らしいですね。私はいつか、マネジャーの行う間接業務など、現場から一步引いた仕事をしてみたいです。というのも、監査基準委員会報告書や法人のマニュアルなどに基づいた監査を行わなければならないのですが、それらの遵守や調書への残し方を、すべての年次、特に若いスタッフに伝えたいと思います。太陽は、普段から現場や飲み場などでパートナーやマネジャーなど先輩方とコミュニケーションを行う機会が多いため、ぼんやりとですが、将来像を描くことができました。

井上 私は、会計士の仕事を調べたときに、アドバイザー業務ができるのに惹かれて資格を取りました。5～6年間はいろんな監査に携わって、アドバイザー業務をやる下地を作り、その先はアドバイザーと監

査を両立してやっていきたいと思います。大手だと部門が分かれてしまっていることが多く、両方は難しい場合がありますが、太陽には兼務している先輩がたくさんいるので目指したいですね。

島根 皆さん明確にやりたいことや先の目標があって、とても心強い後輩ばかりで安心しました。私の今のライフステージは皆さんと違って子供がいるので限られます。監査チームでは、スタッフとして現場に入り、若いスタッフを指導して、主査をサポートするのを大事にしています。

高 島根さんの職階はスーパーバイザーですが、現場ではスタッフで入っているとおっしゃっていましたね。

島根 女性は、入所して結婚・出産するまではバリバリ働いて、育児期間は少しセーブするなど、ステージ毎にできる仕事の量が異なります。太陽が私たちを活かしていける法人になってほしいですね。そういう意味で、出産・育児中の私たちは“女性の働き方改革”のようなもの。皆さんがバランス良く働ける法人の制度を作っていかなければなりません。たとえば在宅勤務なども私たちが経験することで、上手な活用法を考えていかなければと思います。

◎女性受験生へ先輩からメッセージ

高 私自身もそうですが、仕事に誇りを持ち、自分の人生を充実させたい女性に入ってきてほしいです。太陽は、多様な業種・業務があるので、働いてから得意分野や興味のある分野を見つけられればいいと思います。幅広い業務に携わりたい人や、自立した働き方をしたい方にお勧め

です。

竹内 私は頑張って取った資格を生かして自分を成長させたいと意気込み太陽に入所を決めました。ですが、同時に上手くやっていけるのかという漠然とした不安もありました。この対談を読んでくださっている方の中にも、何かしら不安を抱えている方はいるのではないのでしょうか。でも、つらい受験勉強を終えて、その先にまで不安を抱えていくのはイヤですよね。今回のこの対談内容が皆さんの将来のモチベーションとなって、不安を和らげる一助となれば幸いです。

井上 私は就活の時に、大手法人でも太陽でも、不安や疑問に思ったことは全部聞いて入所を決めました。入ってから「思っていたのとは違うな」というギャップを作りたくなかったからです。説明会の時にたくさんお話を聞き太陽は魅力的な人が多く、上司との距離感が近いと感じました。実際入所し、J1の私でもグループ長が「今、何やっているの?」と声をかけてくれるので、私が思っていた通りの会社だなと感じました。皆さんにも就活でたくさんの方の話を聞いて自分に合った法人を見つけていただきたいなと思います。

島根 自分の人生の何が大事なのかを考える良い機会だと思います。いろいろな人の話を聞いて、自分の価値観をよく考えてください。その中で太陽に入ることを選んでくれたらとても嬉しいですね。ここにいる3人の世代の女性とも力を合わせて、女性の働きやすい環境や制度をより時代にマッチさせたものに進化させていこうと思っていますので、安心して入ってきてください。



休日の過ごし方

井上さんの場合



友人と美味しいものを食べてリフレッシュ！

休日は友人とご飯に行くことが多いです。食べることが大好きなので楽しく会話をしながら美味しいごはんとお酒を飲んでる時間がすごく幸せです。また、バドミントンが好きで運動不足解消も兼ねて休日に打ちに行くこともあります。これから長期休みには旅行も行けたらいいなと考えています。

竹内さんの場合



羽を伸ばして自分の好きなことを！

休日は家でゲームをして、動画をみながらくつろぐのが大好きです。ですがそれと同じくらい可愛しくて癒されるものが大好きなので、大好きなサンリオのショップ巡りやプラネタリウム・水族館に行くことも多いです。仕事とのメリハリをつけるためにも自分の時間は大切にしています。

島根さんの場合



家族との時間！

午前中は夫に子供二人を見てもらいながら平日溜まった家事を片付け、午後は公園や買い物に出かけます。法人内の子育て中の女性たちと家族でピクニックに行くこともあります。仕事と子育ての両立は楽ではありませんが、休日はしっかり時間を確保してじっくり子供と向き合うようにしています。

高さんの場合



お出かけしてリフレッシュ！

年に数回は海外、国内問わず旅行しています。昨年は、同期と夏季休暇を利用して北海道を満喫し、また富士急ハイランドにも遊びに行きました。同期は監査に紐づけて話すことが得意で、とても面白いです。また、フットサル部や卓球部の活動に参加し、プレーを楽しんでいます。

充実した福利厚生制度

より働きやすい環境を目指して

職員が安心して生活し、業務に励めるように雇用環境の整備を進めています。
プライベートな時間と、職員のこれからの生活をより充実させることで、業務クオリティをより高めています。

特別休暇

有給休暇とは別に必要な休暇制度があります。

- 補習所の修了考査(2週間)
- 夏季休暇
- 産前産後休暇
- 公認会計士試験論文式試験
- 年末年始休暇
- 育児休業 など

毎週水曜日は早帰り日

毎週水曜日は早帰り日とし、原則として18時30分までの勤務としています(繁忙期を除く)。夜の空いた時間を有意義に使うことにより、業務にメリハリがつき、モチベーションの向上につながっています。

確定拠出年金(DC)制度

職員がリタイア後の心配をせずに安心して業務に専念できる基盤として2020年4月に導入。給与の一部を1,000円から27,500円の間で7コースから選択し加入することができます。税金や社会保険料軽減効果もあり、個人で加入するiDeCoよりもメリットがある制度です。

費用補助・表彰制度

必要な費用の補助や表彰制度があります。

- 修了考査予備校費用補助
- 会計士協会年会費全額負担
- 団体保険
- 修了考査合格祝い金
- 残業食事代
- 慶弔 など
- 実務補習所費用全額負担
- 永年勤続表彰
- 会計士協会登録費用
- 英語研修

多様な働き方制度

- 在宅勤務
- サテライトオフィス(横浜)でのテレワーク

人が自然と集まる リフレッシュルーム

職員が心身ともにリフレッシュして仕事に取り組める環境を提供するために、リフレッシュルームを設けています。専属のマッサージ師を常設しているため、無料で施術のサービスも受けられます。また、卓球台・ダーツ台も設置しており、職員同士のコミュニケーションを図りやすく、仕事モードのオン・オフを切り替えることで、効率的に仕事に励むことができます。



リゾート好立地の保養所

ご家族や友人、お一人で、リフレッシュできる空間を

- 東急ハーベスト 共有会員制システム
軽井沢、京都、箱根、浜名湖、鬼怒川など
- ビステ石打 リゾートマンション
1人何泊しても1,000円で利用が可能です。



子育て支援制度

太陽のサポート

太陽監査法人では、様々な人のキャリアを後押しするために、複数の子育て支援制度を設けています。
多様化する時代、ライフスタイルの変化に合わせて、働きやすい柔軟な組織を目指しています。

取得実績

女性育児休業取得率実績

男性の育児休業取得者も
年々増加しています

100%

育児休業取得後の復職率

育児のための短時間勤務
者も年々増加しています

100%



産前産後 休暇

産前は6週間、産後は8週間まで
休暇の取得が可能です。



育児休業

1歳のお誕生日前日まで取得が
可能、状況により2歳まで延長も
可能です。



短時間勤務

最大2時間の勤務時間を短縮で
きます。小学校ご入学前までが
対象です。



子どもの 看護休暇

有給で年間10日間、看護に充
てられます。小学校ご卒業までが
対象です。※1



出産祝い金

本人または配偶者のご出産の都
度、支給いたします。



ベビーシッター 利用費用補助

ベビーシッター利用にあたり、利
用料の補助金制度です。



保育所の 支援

保育所等の運営を行っている企
業と提携しており、企業主導型
保育園への優先的な入園が可能
です。



その他の 制度

勤務日数の軽減、業務量の軽
減、時間外の制限等、柔軟に対
応いたします。

※1 なお、看護休暇は、一般的に“無給”ですが、当事務所では子育てへの支援を強化するため、“有給”としています。

制度を活用した体験談

山田 雅人

Masato Yamada
シニアスタッフ
2016年入所



2016年に太陽監査法人へ入所。入所後は、上場企業の監査を主業務とし、金融機関及び公益財団法人の監査に従事した。現在は、製造業(東証一部上場)の監査及びIPO支援業務に従事している。

周囲のサポートのお陰で、
育児休暇制度を有効活用しながら
担当業務を
継続することができました。

私は、2019年6月から2019年11月までの約6ヶ月間育児休業を取得していました。育児休業の取得に際して、法人は快く受け入れてくれました。育児休暇期間中も、1ヶ月当たり10日間程度勤務していました。この間も、担当業務が変わることはなく、主に上場企業の主査業務やIPO支援業務に従事していました。限られた時間の中で上述の業務を継続して担当することができたのも、周囲のサポートのお陰であったと感謝しています。特に、同時期に入所した仲間や監査チームの後輩が助けてくれたことを覚えています。今後も家族や法人と相談しながら、また導入される各種制度を活用しながら、私生活と仕事のバランスの取れたキャリアプランを形成していきたいと考えています。

林田 亜由美

Ayumi Hayashida
シニアスタッフ
2014年入所



育休から復帰後も残業無しで、
在宅勤務制度も活用しながら
主査業務を継続。
キャリアアップも充実しています。

周りに育休を取得している先輩後輩が多くいて、周囲の理解が得やすい環境だと思います。復帰後は、基本的に残業無しで勤務しています。一方で、子育てをしながらも将来的なキャリアアップを視野に入れ、可能な範囲で主査を任せてもらっています。育休明けに初めての主査を経験したので不安もありましたが、周囲のサポートを得ながらも挑戦してよかったと感じています。その場合も、基本的に残業無しで対応できるようなクライアントにアサインしてもらうなど、細かな配慮をもらえており、安心して働くことができています。そして、以前から希望していた在宅勤務も導入され、その制度を適宜利用することで空いた時間を家事や育児に充てられて助かっています。

卸売業、製造業、リート、SPCなどの監査に従事。入所3年目に第一子、6年目に第二子を出産後、それぞれ約1年産休・育休を取得。復帰後は、残業免除や在宅勤務などにより家庭と両立しながら、卸売業の主査に従事。

CSR活動

Grant Thornton CSR

当法人が加盟しているグラントソントンでは、毎年 CSR Day を設定し、各国の加盟事務所がCSR活動を積極的に行っています。太陽監査法人を含む太陽グラントソントングループは、公共性の高いプロフェッショナルファームとして、会計及び監査業務のほか、地域社会への社会的責任を果たすべくCSR活動を行っています。

FITチャリティラン

私たちはNPO・NGOを支援するFITチャリティランイベントに継続的に参加しています。イベントへの参加を通じて、認知度等の問題により十分な活動資金を確保できていないチャリティ団体への寄付を行っています。



国際女性デー

国連が制定する3月8日の国際女性デーには、女性に対するスモールギフトを用意し職員同士やご家族に感謝を伝えるイベントを開催しています。イベントを通じて、女性のみならず、普段接することのできない様々なメンバーとコミュニケーションを行うことで、ダイバーシティの推進に努めています。



紙資源の節約・還元活動

私たちは業務上で使用する紙資源の無駄を削減し、植林活動に還元する活動を行っています。削減した分、寄付や植林イベントへの参加を通じて自然・次世代の資源の循環に還元するプロジェクトを実施しています。



募金活動・協賛活動

セーブザチルドレンやユニセフなどへの寄付により、子どもたちを取り巻く社会課題を解決するための活動を支援しています。また、日経ソーシャルビジネスコンテストへの協賛を通じて、持続可能な社会の実現に向けた活動に貢献しています。



部活動

職員の心身の健康や、職員間のコミュニケーション活性化を図ることを推進しています。

野球部



野球部には、職階を問わず多くの部員が在籍しています。元プロ選手から未経験者まで、明るく楽しく、誰でも活躍できる野球部です!皆さんの参加をお待ちしております!

卓球部



事務所に卓球台があり楽しくラリーしています。周りへの配慮も忘れず、踏み込みには気を付けています。もちろんリフレッシュ後は、かなり踏み込んだ監査を実施しています♪

eスポーツ部



初心者から経験者まで和気あいあいとさわやかeスポーツをしています。上達したい人はガッチリ練習し、初心者はまったり楽しむ、多様性のある部活を目指しています。

ダーツ部



事務所にダーツマシンがあり、遊び・練習の環境として最高です(部外の人でも使えます!)。狙い通りに当てられた時はたまりません。もちろん監査でも狙ったリスクにズドン!

ゴルフ部



ゴルフは生涯スポーツです! 入所してからゴルフを始めたメンバーばかりなので、未経験者の方も大歓迎です。ゴルフ場は自然豊かで良いリフレッシュにもなりますよ!

フットサル部



毎年、会計士協会東京会主催のフットサル大会に3チーム(女性各チーム2人含め30人程)出場しており、ここ数年は継続して優勝チームを輩出しています!

マラソン部



マラソン部では、初心者・経験者問わず活動しています。5kmから20km、リレーと自分に合わせた距離を走っています。走った後には懇親会も実施し親睦を深めています。

バドミントン部



頭脳プレーを楽しみたい人におすすめの部活動です! 監査に必要な瞬発力、持久力、空間認識能力も身に付きます! 所属関係なく家族ぐるみで楽しく活動しています!

釣り部



初心者から熟練者まで性別、年齢問わず個性豊かなたくさんの部員が所属しており、釣りの後は、釣った魚で懇親会も楽しんでいます。家族参加イベントも企画中です!

スキー・スノーボード部



スキー・スノーボードが好きな人を集めて、スキー場にて練習を行うほか、スキー合宿にも行きます。初心者からベテランまで大自然の中で楽しく活動しています。



法人概要

事務所

法人名称	太陽有限責任監査法人 Grant Thornton Taiyo LLC (英文名称)
総括代表社員 (CEO)	山田茂善
設立	1971年9月
本部・東京事務所	〒107-0051 東京都港区元赤坂1丁目2番7号赤坂Kタワー22階
Tel	03-5474-0113
Fax	03-5474-0114
URL	http://www.grantthornton.jp/aboutus/audit/

関与先

金融商品取引法・会社法監査	239社
金融商品取引法監査	24社
会社法監査	145社
信用金庫・信用組合監査	19社
独立行政法人監査	5社
国立大学法人監査	1社
学校法人監査	49社
社会福祉法人監査	12社
医療法人監査	10社
社団・財団・その他非営利	44社
その他の法定監査	95社
その他の任意監査	316社
合計	959社

2020年3月末現在

人員構成

代表社員・社員	81名
特定社員	3名
公認会計士	291名
公認会計士試験合格者等	173名
その他専門職	190名
事務職員	81名
常勤合計	819名
非常勤	229名
合計	1,048名

2020年3月末現在

沿革

1971年 9月	太陽監査法人設立
1994年 10月	グラントソントンインターナショナル加盟
2006年 1月	太陽監査法人とASG監査法人が合併し太陽ASG監査法人となる
2008年 7月	有限責任組織形態に移行 太陽ASG有限責任監査法人となる
2012年 7月	永昌監査法人と合併
2013年 10月	霞が関監査法人と合併
2014年 10月	太陽有限責任監査法人に社名変更
2018年 7月	優成監査法人と合併
2018年 7月	本部・東京事務所を赤坂へ移転

太陽グラントソントングループ会社のご紹介

太陽グラントソントン税理士法人

税務コンプライアンス、連結納税、税務レビュー・セカンドオピニオン、国際税務、移転価格コンサルティング、企業組織再編税務、グループ企業間取引設計、税務訴訟、外国人所得税コンサルティング

太陽グラントソントン・アドバイザーズ株式会社

財務・会計デューデリジェンス、企業価値評価、内部統制関連業務、情報システムコンサルティング、不正調査・フォレンジック業務、事業再編・再生、海外進出支援、経営コンサルティング、中国ビジネス・税務コンサルティング、情報システム導入・運用コンサルティング、業務改革コンサルティング

太陽グラントソントン・ アカウンティングサービス株式会社

会計帳簿作成、月次決算及び年次決算 (US基準、日本基準等)、銀行口座管理、支払送金業務及びwebバンキングの設定支援、海外本部向け報告書の作成、金融庁提出報告書 (月次モニタリングレポート等) の作成、会計監査対応資料の作成、減価償却計算、償却資産台帳の作成

太陽グラントソントン株式会社

資本戦略、株価・事業価値評価、海外進出・海外ビジネス支援、事業承継対策・国際相続・ファミリーオフィスサービス、公益法人コンサルティング

太陽グラントソントン社会保険労務士法人

給与計算・労働社会保険手続アウトソーシング、雇用契約書・就業規則の作成支援、外国人労働者とコンプライアンス支援、日本人労働者の海外出向支援、企業組織再編労務の支援、労務監査・人事内部監査の支援、システム構築による人事業務改善ソリューション

税理士法人 山田&パートナーズは、グラントソントンのメンバーファームに加盟しているため、当法人のネットワーク・ファームです。



総括代表挨拶

新しい時代を切り拓く、あなたへ。

太陽有限責任監査法人は、次代を築いていく新しい会計士像として、会計・監査知識はもとより、外国人とディベートができるほどの語学力と、IT・AIなど新しいテクノロジーへの興味と知識を備えた人財を求めています。その為に、語学とデジタル監査技術の習得へのバックアップを惜しむことなく行うことで、世界に通用する高い意識を持った職業的専門家を育てていきます。

太陽有限責任監査法人
総括代表社員
山田茂善

監査品質向上のための「3つの価値観」を掲げて運営しています

太陽は、公共財の提供者であること、監査の結果に責任を持つこと、社会性・国際性を発揮することを「3つの価値観」として掲げて運営しています。

公共財の提供者であること

我々監査法人は、保護された環境で活動しているため、民間法人である一方、公共財として、利益追求に走らず国民経済の発展に寄与できるよう動かなければならないことを表しています。

監査の結果に責任を持つこと

職業的専門家として「懐疑心・好奇心」を持ちつつ、世の中を広く見ることが意味しています。

社会性・国際性を発揮すること

端的にいうと、グローバルな人財育成と結びつきます。

太陽は、経済社会に貢献する公共財として、人財育成のための投資や組織の魅力づくりを絶えず実行し、個人の成長、仲間との連帯及び国際力の強化などを通じて、強い監査法人を目指します。

入所してから「なりたい会計士のイメージ」を持って進んでください

私たちの仕事の責務は、最終的には国民経済の健全な発展ですが、その前に個人の成長とチームワークによる信頼関係の構築があります。まず個人の成長に関しては、太陽に在籍している個性的な先輩と出会い、仕事をともにして、たくさん吸収してください。さらに個人レベルでの英語やITの基礎取得に関しては、語学研修など様々なバックアップを用意していますので、太陽に入ってから「なりたい会計士のイメージ」を描き、階段をステップアップしてください。

また、監査業務はチームワークが必須ですが、クライアントもチームも変わるので、上下や横の信頼関係を結ぶために、仕事以外の部活動やCSR活動を推奨しており、社員旅行も親睦の一環として行っています。同じ趣味から会話が生まれ、それが仕事での円滑なコミュニケーションに結びつきます。

その結果として、会計・監査知識のほかに、語学や新しいテクノロジーへの興味と知識を持ち、かつコミュニケーション力も豊富なプロフェッショナルを目指して欲しいです。

太陽監査法人は、「監査+IPO+a」が必ず経験できる法人です

組織と人が大きく成長できる環境要因の一つが、幅広い経験ができることです。監査では民間企業から金融、学校法人など多種多様な業界に関わり、経験する「比較感」が必ず成長に繋がります。また、

太陽が全力で取り組んでいるIPOは、芽吹いたばかりの新しい業種に接したり、会社の全体像が見えたり、上場の失敗から気づくこともたくさんあるので、新人には必ず経験してほしい業務です。入所後は様々な業種を経験して、「自分が成長したい」方向性を見つけてください。太陽はあなたの興味や希望する道を照らしていきます。

会計のプロになるための課題を克服し、次の成長へと確実に繋げていきます。

太陽は1,000人超(常勤800人)体制となりましたが、現在の課題は、人財の強化及びテクノロジーの活用が挙げられます。特に、今後はIT・AI投資にも、我々独自の取り組みが必要になっていくことから、最重要課題の一つに挙げています。さらに、より良い環境整備として、働き方改革も継続課題の一つです。人財を時間による管理をするのではなく、成果による評価制度を導入する予定です。ライフスタイルに合わせた働き方ができる体制を築き、また、女性の出産や育児をサポートするテレワーク及びサテライトオフィスの開設を推し進めており、今後も新しい方策を順次導入していきます。

太陽は、世界で通用する人財を育成します

ICT(情報通信技術)の発達により「第4次産業革命」ともいわれている現在の外部環境及び内部環境の劇的な変化と、人の手による監査からIT活用によるデジタル監査の高度化は、情報管理による効率化はもちろん、監査品質の向上にも繋がると期待されています。その一方で、テクノロジーの活用が特に遅れているとされる監査環境では、今後、ビッグデータを駆使する世界のトップIT企業(ビッグテック)がコンペジターに想定され、監査法人は生き残りをかけた戦いに挑まなければなりません。

この環境下において、太陽は、監査法人の中で「ビッグ4+ワン」という位置づけで語られることが多いですが、私たちはグラントソントンのグローバルネットワークファームとして、欧米式の業務をトレースしているわけではありません。

米・英・仏・日・中・加の6カ国7名による最高意思決定会議「ストラテジー・コミッティ」に参加しており、日本が自らグローバルネットワークの意思決定に関与することで、我々から世界へ発信できる存在へと成長してきました。

次のステップとして、太陽「世界で通用する人財育成」を掲げています。もちろん、IT・AIへの投資は一定の規模は必要ですが、あくまで主役は人財の育成です。みなさんは、「会計士になった後、どういことをしたいか」をしっかりイメージして、次のステップや夢の実現に向けて行動してください。

太陽は、やる気を持って仕事に取り組みたい、短期間で実力を身につけたい人に、最良のバックアップをお約束します。